

令和元年 7 月 30 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 生活

代表者 天穴小 学校

氏名 河端 宏範

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫
方 法	○飼育単元の学習活動の流れ, 住みか及び餌等飼育方法が示されている生き物

発行者	調査・研究内容
東書	<p>〈上〉「いきものとなかよし」総ページ数9 (p 57~65)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ むしを さがそう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ むしの採集の様子をイラストで掲載している。</li> <li>・ 生息しているところを含めたむしの写真を掲載している。 (5点 コオロギ カマキリ アリ キリギリス バッタ)</li> </ul> </li> <li>○ むしと なかよく なろう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察する視点(うごき 食べ物)を記載している。</li> </ul> </li> <li>○ いきものずかん           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3種類のむし(ショウリョウバッタ オンブバッタ コオロギ)の具体的な飼育方法を掲載(生活環境・餌)している。(ページ数2)</li> </ul> </li> <li>○ やってみよう みんなで どうぶつを かおう(ページ数2)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小動物の飼育(ハムスター モルモット)の紹介している。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈下〉「生きものなかよし大作せん」総ページ数11 (p 33~43)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きものの ことを 話そう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな生きものの生息している様子を写真で掲載している。 (7点 カエル(オタマジャクシ) モンシロチョウ クワガタムシ ダンゴムシ アゲハ トンボ(やご) アメリカザリガニ)</li> </ul> </li> <li>○ 生きものを さがそう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 採集の仕方を, 図版(3点)・写真(3点 ダンゴムシ トンボ(やご) アゲハ)で掲載している。</li> </ul> </li> <li>○ 生きものを 育てよう(ページ数2)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしたら生きものをかうことができるか考えさせている。</li> </ul> </li> <li>○ 生きもの図かん(ページ数2)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろんな生きもの(アゲハチョウ トンボ カエル ダンゴムシ)の飼育の仕方(生活環境・餌)を写真で掲載している。</li> <li>・ 成長の過程(変態, 脱皮)も写真で掲載している。</li> </ul> </li> <li>○ 生きものの ことを つたえ合おう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞づくりを通して, 他者との情報交流をさせている。</li> </ul> </li> <li>○ アメリカザリガニをかうときのやくそく           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生態系に係わって, 詳しく説明している。</li> </ul> </li> </ul>

大日本	<p>〈上〉「あきとなかよし」「いきものとなかよし」総ページ数10 (p 44~53)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな むしが みつかるかな <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草原の中に生息するいろんなむしを図版で示している。 (トノサマバッタ アキアカネ オオカマキリ オンブバッタ ダンゴムシ アゲハ ベニシジミ エンマコオロギ ナナホシテントウ)</li> </ul> </li> <li>○ むしの おうちを つくったよ (ページ数2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な飼育方法を掲載している。 えさのみ記載 生活環境については、挿絵の子どもの会話で説明している。 (コオロギ テントウムシ カマキリ)</li> </ul> </li> <li>○ むしの ふしぎを みつけたよ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体のつくり (頭の形, 目の色, 足のつくり) 写真で示している。 (コオロギ バッタ カマキリ)</li> </ul> </li> <li>○ おしえて あげるね <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察シート, カマキリの模型づくりを通して, 他者との情報交流をさせている。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈下〉「生きものはっけん」「生きているってすごい！」 総ページ数12 (p 28~39)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな生きものが いるのかな <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然を描いた図版を見て, いろんな生きものがどこに生息しているかを考えさせている。 (カエル (オタマジャクシ) モンシロチョウ カブトムシ クワガタムシ カミキリムシ ダンゴムシ アゲハ やご (トンボ) ザリガニ バッタ カタツムリ メダカ ホタル)</li> </ul> </li> <li>○ 見つけたよ! かってみたいな <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 採集の仕方を, 図で説明 (ダンゴムシ ザリガニ やご)</li> </ul> </li> <li>○ 大切に するよ (ページ数2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろんな生きもの (やご (トンボ) ダンゴムシ ザリガニ カタツムリ) の飼育仕方を 写真と図案で説明している。(えさ 生活環境)</li> </ul> </li> <li>○ 生きものの ひみつ はっけん <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成長の過程 (変態, 脱皮) も写真で示している。 (ダンゴムシ ザリガニ やご (トンボ) カタツムリ)</li> </ul> </li> </ul>
学図	<p>〈上〉「いきものだいすき」総ページ数10 (p 82~91)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なかよく ならう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な小動物の世話をする様子の写真を掲載している。 (モルモット ニワトリ アヒル ヤギ ウサギ)</li> </ul> </li> <li>○ もっと なかよく ならう (ページ数2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モルモットの手のつくり, 食べ物, フンなど生活の様子を写真で示すとともにQRコードで, その様子を動画で紹介している。(ページ数2)</li> </ul> </li> <li>○ [ちゃれんじずかん] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モルモットの具体的な飼育方法を写真で説明している。(生活環境・えさ) ー また, その様子をQRコードで, その様子を動画で紹介している。(ページ数2)</li> </ul> </li> <li>○ もるもっと だいすき (ページ数2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察カード 劇づくりを通して, 他者との情報交流をさせている。</li> </ul> </li> <li>○ むし だいすき 総ページ数4 (p 92~95)</li> </ul>

<p>学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8種類のむし (アキアカネ オンブバッタ エンマコウロギ スズムシ ショウリョウバッタ コカマキリ オオカメコオロギ ベニシジミ)</li> </ul> <p>(下)「生きものと友だち」総ページ数14 (p56~69)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きものを さがそう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなどころに生息しているか。写真で掲載している。 (オタマジャクシ ダンゴムシ 2種類, 危険な生きもの 5種類)</li> </ul> </li> <li>○ 生きものを かおう (ページ数4) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼育の仕方は, 図や写真も少なく説明が簡単であるが, [ものしりノート]で, 6種類の生きものについて, 図版でまとめている。(えさ 生活環境) (アゲハチョウ やご (トンボ) おたまじゃくし (カエル) ダンゴムシ キリギリス アリ)</li> </ul> </li> <li>○ 生きものの ふしぎを みつけよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体のつくり (口の形, 足の数) や成長の過程 (変態, 脱皮) をも写真で示している。 (ダンゴムシ アゲハ やご (トンボ) おたまじゃくし (カエル))</li> </ul> </li> <li>○ ふりかえろう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発見カードの記入を通して他者との情報交流をさせている。</li> </ul> </li> </ul>
<p>教出</p>	<p>(上)「なかよくなろうね 小さなともだち」総ページ数10 (p62~71)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きものを さがそう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な所 (校庭) にある植物や小動物を写真や図版を掲載している。 (写真 トノサマバッタ ショウリョウバッタ ダンゴムシ チャボ ウサギ 図版 金魚 トンボ ひまわり・・・)</li> </ul> </li> <li>○ じぶんたちで そだてよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダンゴムシやモルモットを飼育するためのポイントを考えさせているが, 説明は記載されていない。(ページ数2)</li> </ul> </li> <li>○ なにを かんじたかな <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察カードの記入を通して他者との情報交流をさせている。</li> </ul> </li> </ul> <p>[生きものの そだてかた ずかん] (ページ数1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発展的な内容として, ダンゴムシ・コオロギ・モルモット・チャボの育て方を図版で簡単に示している。(えさやすみか)</li> </ul> <p>(下)「めざせ生きものはかせ」総ページ数12 (p46~57)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きものを つかまえよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生きものが, どんなどころに生息しているか。採集の様子を, 多くの写真で示している。 (やご (トンボ) ダンゴムシ カマキリ カナヘビ アメリカザリガニ)</li> </ul> </li> <li>○ 生きものを かってみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真を多用し, やごの成長の様子やバッタの体のつくり (足のつくり) を説明している。</li> </ul> </li> <li>○ 生きものの ことを つたえ合おう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞づくり, カブトムシパズル, ダンゴムシクイズづくりを通して, 他者との情報交流をさせている。</li> </ul> </li> <li>○ 何を かんじたかな</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひみつ大はっけんカードを作って、ふりかえりをさせている。</li> </ul> <p>○ [生きものの そだて方 図かん] (ページ数2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発展的な内容として、シオカラトンボ クロオオアリ ショウリョウバッタ アゲハの飼育方法を図版で説明している。</li> </ul>
信教	実物がないため調査・研究ができない。
光村	<p>〈上〉「いきものと なかよし」総ページ数12 (p62~73)</p> <p>○ どんな いきものと なかよく なりたいかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近なむしや小動物の写真を掲載している。 (ハムスター モルモット ウサギ チャボ ダンゴムシ バッタ)</li> </ul> <p>○ はじめまして、こんにちは (ページ数2)</p> <p>○ もっと なかよしに なりたいな (ページ数2)</p> <p>○ いっぱい わかったよ (ページ数2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モルモットの観察をさせ、(体のつくり、食べ物、生活場所、フン等) その中で飼育についても、図と写真で掲載 (生活環境・えさ)</li> </ul> <p>○ ずっと 大すき (ページ数2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察シートや話し合い活動を通して、他者との情報交流をさせている。</li> </ul> <p>○ [めざせ、いきものはかせ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発展的な内容として、いろいろなむしの飼育 (えさ 生活環境) 方法をまとめている。(ダンゴムシ ショウリョウバッタ)</li> </ul> <p>〈下〉「小さな 友だち」総ページ数12 (p36~47)</p> <p>○ 何が いるかな、どこに いるかな</p> <p>○ いた いた、見つけた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなところに生息しているか。多くの写真を掲載している。 (ダンゴムシ テントウムシ カタツムリ アゲハの幼虫 やご (トンボ) アマガエル (おたまじゃくし) アメリカザリガニ トカゲ カマキリ)</li> </ul> <p>○ かって みたいな、できるかな (ページ数2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な生きものを例に、具体的な飼育方法を図版で掲載 (ダンゴムシ アゲハの幼虫 アメリカザリガニ)</li> </ul> <p>○ よく 見ると、おもしろいよ</p> <p>○ ふしぎ、びっくり、大はっけん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な生きものの生態の写真を掲載している。 (ダンゴムシの動き、脱皮 アゲハの羽化 アメリカザリガニの脱皮)</li> </ul> <p>○ みんな 生きて いる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学んだことのふりかえりをさせている。</li> </ul>
啓林館	<p>〈上〉「生きもの 大すき」総ページ数14 (p58~71)</p> <p>○ [わくわくボックス] 生きものに あいにこう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近なむしや小動物の写真を掲載している。 (ハムスター ウサギ ニワトリ 金魚 メダカ カマキリ バッタ コオロギ ダンゴムシ)</li> </ul> <p>○ 生きものと ふれあおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察する視点が明確になっていない。</li> </ul> <p>○ 見つけた ことを しょうかいしよう</p>

啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他教科と関連を持たせている。(国語 図画工作 体育)</li> <li>○ どうぶつと なかよく なろう (ページ数2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モルモットの観察をさせ、(体のつくり, 食べ物, 生活場所, フン等) その中で飼育について写真で説明している。</li> </ul> </li> <li>○ 大せつな いのち <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 命の大切さを考えさせる視点で記載</li> </ul> </li> <li>○ [生きものの そだてかた] (ページ数2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発展的な内容として, いろいろなむしの飼育 (えさ 生活環境) をまとめている。</li> <li>(ショウリョウバッタ オンブバッタ コオロギ ダンゴムシ ナナホシテントウ)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈下〉「みんな 生きて いる」総ページ数14 (p42~55)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ [わくわくボックス] どんな 生きものが 見つかるかな? <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卵から成体へ, 成長していく様子を写真で掲載している。</li> <li>(カエル テントウムシ カタツムリ トンボ セミ カニ)</li> </ul> </li> <li>○ 生きものを さがそう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いきものが, どんなどころに生息しているか考えさせ, 採集の様子を, 写真で掲載している。(オタマジャクシ やご)</li> </ul> </li> <li>○ 大切に そだてよう (ページ数2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生きものの飼育の仕方を考えさせている。(生活環境)</li> </ul> </li> <li>○ 生きものを よく 見よう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な生きものの生態の写真を掲載している。</li> <li>(アゲハ, トンボ, カエルの変態の様子 ダンゴムシの脱皮)</li> </ul> </li> <li>○ はっ見した ことを 知らせよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成長記録, 新聞, トンボの模型づくり, クイズづくりを通して, 他者との情報交流をさせている。</li> </ul> </li> <li>○ [生きものの そだて方] (ページ数2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発展的な内容として, 身近な生きものの飼育 (えさ 生活環境) 方法をまとめている。</li> <li>(アゲハチョウ ヤゴ クワガタ, カブトムシ オタマジャクシ ダンゴムシ カニ)</li> </ul> </li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈上〉「生きものと なかよく なろう」総ページ数8 (p66~73)</li> <li>○ 生きものに あいに いこう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近なむしや小動物を記載した写真や図版で紹介している。</li> <li>(アメンボ メダカ カエル バッタ ダンゴムシ トンボ カマキリ チャボ カナヘビ モルモット ウサギ)</li> </ul> </li> <li>○ 生きものと ふれあおう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼育方法としての記載はない。(モルモット コオロギ オンブバッタ)</li> </ul> </li> <li>○ 生きものの ことを つたえよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他教科と関連を持たせている。(国語 図画工作 体育 音楽)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈下〉「生きもの はかせに なろう」総ページ数18 (p44~61)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きものを さがす じゅんぴを しよう</li> </ul>

<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きものを さがそう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなどころに生息しているか考えさせている。</li> <li>・ 採集のために準備することを考えさせている。</li> </ul> </li> <li>○ 生きものの せわを 考えよう (ページ数2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼育の仕方 (生活環境) を児童に考えさせている。</li> </ul> </li> <li>○ [ポケット図かん] 生きもの図かん (ページ数4) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろんな生きものの飼育方法をまとめている。(えさ 生活環境)</li> </ul> <p>(カブトムシ やご (トンボ) ダンゴムシ ショウリョウバッタ メダカ モンシロチョウ おたまじゃくし (アマガエル) カタツムリ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カブトムシ, トンボの成長の過程 (変態) も写真で掲載している。</li> </ul> </li> <li>○ じっくり かんさつしよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろんな生きものの生態を写真で掲載している。</li> </ul> <p>(幼生 (カタツムリ モンシロチョウ アマガエル), 脱皮 (ダンゴムシ バッタ))</p> </li> <li>○ 生きものの ひみつを つたえよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスターづくりや作文を通して, 他者との情報交流をさせている。</li> </ul> </li> <li>○ どうぶつの せわあを してみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発展的な内容として, モルモットやヒツジの飼育をしている様子を写真で示している。(ページ数2)</li> </ul> </li> </ul>
-----------	--

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②自分と身近な人々，社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫
方 法	○地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真，四季の変化を対比させたページ

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 上巻には，地域ボランティアの人に交通指導をしてもらっている写真，地域のお年寄りと一緒に伝承遊びをしている写真を掲載している。</p> <p>○ 下巻には，農家の人，消防署で働く人，和菓子屋で働く人，図書館で働く人グラウンドゴルフの活動をしている人，保育園・幼稚園の先生と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○ 以下の4点について，四季の変化を対比させたページを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校庭で季節のものをさがしている児童のイラストと雲，生き物，植物の写真 〈上〉 p 42-43 夏→p 68-69 秋→p 94-95 冬→〈下〉 p 2-3 春</li> <li>・ 町の人々が公園で過ごしている様子がわかるイラスト 〈上〉 p 44-45 夏→p 70-71 秋→p 96-97 冬</li> <li>・ 商店街や人々のくらしの様子が分かるイラスト，季節の行事・風物詩，児童の服装や遊び，カマキリ，サクラの写真 〈下〉 p 6-7 春→p 44-45 夏→p 66-67 秋→p 90-91 冬</li> <li>・ 「ほんとうの おおきさ ポケットずかん」 〈上〉 p 2-3 春→p 4-5 夏→p 6-7 秋→p 8 冬の原寸大の植物のイラストと生き物の写真</li> </ul>
大日本	<p>○ 上巻には，通学路の安全を見守ってくれている交通ボランティア，子供110番の家，安全パトロールの保護者と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○ 下巻には，交番で働く人，妊婦とその家族，福祉施設を利用する人，農家の人，果物屋で働く人，駄菓子屋で働く人，花屋で働く人，食品工場で働く人，図書館で働く人，和菓子屋で働く人，消防署で働く人，美容院で働く人，公園を利用している人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○ 校庭のサクラの木とその前にいる児童たちの服装や活動を1枚の写真で見開き2ページに大きく掲載している。 〈上〉 p 30-31 夏→p 44-45 秋→p 74-77 冬→〈下〉 p 2-3 春</p>
学図	<p>○ 上巻には，地域のお年寄りから伝承遊びを教えてもらっている写真，動物園の飼育員や獣医師に動物のことを教えてもらっている写真が掲載されている。</p> <p>○ 下巻には，和菓子屋で働く人，パン屋で働く人，消防署で働く人，花屋で働く人，図書館で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>○ 以下の3点について四季の変化を対比させたページを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物の本物に近いスケッチ絵 〈上〉 p 40-41 春の草花→p 56-57 夏の虫→p 62-63 秋の木の葉→p 72-73 冬の鳥</li> <li>・ 自然の素材を使った遊び 〈上〉 p 46-47 春の遊び→p 66-67 秋の遊び→p 78-79 冬の遊び</li> <li>・ 公園を中心にした町や商店や人々の生活の様子が分かるイラストと季節の伝統行事や風物詩の写真 〈下〉 p 28-29 春→p 30-31 夏→p 32-33 秋→p 34-35 冬 と続きのページで掲載さ</li> </ul>



	れている。
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上巻には、防災訓練で地域ボランティアや警察署の人が安全を見守っている写真、公園を利用している人たち、公園を管理している人 地域ボランティアや警察署の人に安全を見守ってもらっている様子を写真で掲載している。</li> <li>○ 下巻には、和菓子屋で働く人、靴屋で働く人、パン屋で働く人、おもちゃ屋で働く人、消防署で働く人、図書館で働く人、消防団の活動をしている人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</li> <li>○ 以下の4点について四季の変化を対比させたページを掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校庭で児童が活動しているイラストと植物や生き物の写真 〈上〉 p16-17 春→p64-65 夏</li> <li>・ 野原で児童が活動しているイラストと植物や生き物の写真 〈上〉 p48-49 春→p74-75 秋→p106-107 冬</li> <li>・ 「のはらのカレンダー」で見開き2ページにサクラの木や生き物 〈上〉 p116-117 春～冬</li> <li>・ 町のイラストと地域の伝統行事の写真 〈下〉 p4-5 春→p58-59 夏→p82-83 秋→p102-103 冬</li> </ul> </li> </ul>
信教	実物がないため、調査・研究できない。
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上巻には、横断歩道で見守りをしてもらっている写真が掲載されている。</li> <li>○ 下巻には、パン屋で働く人、消防署で働く人、図書館で働く人、駅で働く人、和菓子屋で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</li> <li>○ 以下の3点について、四季の変化を対比させたページを掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「なかよしの 木の 1年」でサクラの木とまわりの風景の写真 〈上〉 p107-110 春～冬</li> <li>・ 「きせつの おくりもの」生き物や植物の大きいイラストと小さい写真 〈上〉 p112-113 春→p114-115 夏→p116-119 秋→p120-121 冬→p122-123 早春</li> <li>・ 「きせつの おくりもの」(町) のイラスト 〈下〉 p78-79 春→p80-81 夏→p82-83 秋→p84-85 冬</li> </ul> </li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上巻には、地域のお年寄りから伝承遊びを教えてもらっている写真を掲載している。</li> <li>○ 下巻には、和菓子屋で働く人、花屋で働く人、交番で働く人、図書館で働く人、登下校の見守りをする人、農家の人、駅で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</li> <li>○ 以下の3点について四季の変化を対比させたページを掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校庭のイラストや写真 〈上〉 p12-13 春→p48-49 夏→p76-77 秋→p102-103 冬</li> <li>・ 公園のイラスト 〈上〉 p36-37 春→p78-79 秋</li> <li>・ 「きせつだより」風景と地域の行事の写真、季節ごとの行事のイラスト 〈下〉 p10-11 春→p56-57 夏→p70-71 秋→p96-97 冬</li> </ul> </li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上巻には、横断歩道や通学路で見守りをしてもらっている写真、祭りなど地域の行事に参加している写真、地域の人とゴミ拾いをしている写真を掲載している。</li> <li>○ 下巻には、地域センターの図書館で働く人、駅で働く人、交番で働く人、農園で働く人、和菓子屋で働く人、コンビニエンスストアで働く人、デイサービスセンターを利用する人と児童がかかわる様子、野菜の世話の仕方を地域の人に教えてもら</li> </ul>

<p>日文</p>	<p>っている様子を写真で掲載している。</p> <p>○ 以下の4点について四季の変化を対比させたページを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校、公園で児童が活動しているイラストや雲、植物、生き物の写真 〈上〉 p 32-33 春→p 50-51 夏→p 76-77 秋→p 104-105 冬</li> <li>・ 「きせつの ちがいを ふりかえろう」児童の遊びやまわりの風景の写真 〈上〉 p 111 春～冬</li> <li>・ 「ポケットずかん」 〈上〉 p 54-55, p 62-63 春・夏の生き物や草花遊び→p 80-81 秋の落ち葉や実→p 112-113 冬の遊び</li> <li>・ 「きせつの へんかと くらし」見開き2ページのイラストでサクラの木、八百屋、魚屋、行事や生活 〈下〉 p 126-127 春～冬</li> </ul>
-----------	--

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③自分自身や自分の生活について考えるための工夫
方 法	○学習活動の例及び相互評価・他者評価の例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>&lt;上&gt;「じぶんでできるよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ じぶんのいちにちをみつめよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いえでどんなことをしているのかな。</li> <li>・ どんなことができるのかな。</li> </ul> </li> <li>○ これからもつづけよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なんかことをしたのかな。</li> <li>・ これからもつづけたいことをかんがえよう。</li> </ul> </li> </ul> <p>(「つづけたいこと」・「つづけるためには」をグループ討議：板書を活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ できるようになったことをふりかえろう→できるようになったことを相互評価</li> </ul> <p>&lt;上&gt;「もうすぐ2ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?どうしたらよろこんでくれるのかな。</li> </ul> </li> <li>○ しょうたいしたことをはなしあおう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?よろこんでくれたかな。→自分たちの実践を相互評価 (スライドで振り返り)</li> </ul> </li> <li>○ いちねんかんをふりかえろう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?どんなことがあったかな。→相互評価 (吹き出し)</li> </ul> </li> <li>○ ありがとうわたしたちのきょうしつ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?どんなことができるようになったかな。→相互評価 (季節毎に振り返り)</li> </ul> </li> <li>○ つながるひろがる           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2ねんせいもたのしみだね</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;下&gt;「つながる広がるわたしの生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ つたえたいなまちのすてき           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?だれにつたえようかな。何をつたえようかな。(板書を活用)</li> </ul> </li> <li>○ もっとくわしくしらべよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?どうやってしらべようかな。</li> </ul> </li> </ul> <p>(インタビュー・電話・ファックス・手紙・メール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ つたえたいことをまとめよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?どうやってつたえようかな。(新聞・ポスター・パンフレット)</li> </ul> </li> <li>○ まちのすてきをとどけよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?うまくつたわるかな。よろこんでくれるかな。</li> </ul> </li> <li>○ やってみよう まちの人をしょうたいしよう</li> </ul> <p>&lt;下&gt;「あしたへジャンプ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大きくなった自分のことをふりかえろう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?どんなことができるようになったかな。→相互評価 (吹き出し)</li> </ul> </li> <li>○ 大きくなった自分のことをしらべよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?どんなところがかわったのかな。</li> </ul> </li> </ul> <p>(「ありがとうカード」「すごいねカード」で他者評価, 相互評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分のことをまとめよう</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?せい長したことがたくさんあるよ。どんなことをかこうかな。 (すごろく・絵本・まきもの・新聞・ランキング)</li> <li>○ ありがとうの気持ちをつたえよう       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ?だれにつたえようかな。</li> </ul> </li> <li>○ つながるひろがる       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3ねんせいも楽しみだな。(社会科・外国語活どう・そう合てきな学しゅうの時間・理科)</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 主に吹き出しによる相互評価を掲載している。また、単元「あしたへジャンプ」では、「ありがとうカード」や「すごいねカード」による他者評価、相互評価を掲載している。</p>
大日本	<p>&lt;上&gt;「みんななかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ともだちとなかよし       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなとあそぼう (じゃんけん・てあそび・あめのひのあそびかた)</li> <li>・ おにいさん おねえさんとなかよし</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;上&gt;「ふゆとなかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ かぞくはなかよし       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いっしょだとほっとするね (かぞくがえがおになるときをみつけよう)</li> <li>・ かぞくをえがおにするぽかぽかだいさくせん→ハートのカード (相互評価)</li> <li>・ ぽかぽかいっぱいだね→板書 (相互評価)</li> </ul> </li> <li>○ もうすぐ2ねんせい       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たのしかったね1年かん→できるようになったことを相互評価</li> <li>・ みんながんばったよ→できるようになったこと・がんばったことをシールで評価</li> <li>・ ようこそあたらしい1ねんせい</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;下&gt;「春はっけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな2ねんせいになろうかな       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こんな2年生になりたいな</li> <li>・ 小学校へようこそ</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;下&gt;「自分はっけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ はっけん自分のよいところ       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きくなったよ, できるようになったよ→できるようになったことを出し合おう (相互評価)</li> <li>・ 見つけよう, みんなのすてき→カード (相互評価)</li> <li>・ 自分のこと, もっと知りたいな→自分はっけんインタビューカード</li> <li>・ 小さかったころの自分に会いに行こう</li> <li>・ 自分はっけんブックを作ろう→自分はっけんブック・紙しばい・すごろく・絵本</li> <li>・ 楽しいはっぴょう会にしたいね→板書</li> <li>・ ようこそ, 自分はっけんはっぴょう会→相互評価</li> </ul> </li> <li>○ ありがとうをとどけよう       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとうってあたたかいね→カード (相互評価)</li> <li>・ 自分のよさをつたえたい→じぶんでできることをはじめよう</li> <li>・ みらいにむかってはばたこう→こんな人になりたいな</li> <li>・ 大きくなることって楽しみだね</li> </ul> </li> </ul>

	<p>※ 吹き出しによる相互評価を掲載している。単元「自分はっけん」では、「じぶんはっけんインタビューカード」や「すごいところはっけんカード」等多様なカードの活用によって他者評価，相互評価を掲載している。</p>
学図	<p>&lt;上&gt;ありがとうがいっぱい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いえのしごとをしらべよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いえの人はどんなしごとをしているのかな。</li> </ul> </li> <li>○ いえのしごとにならなそうしよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ できるかな。やってみたいな。(相互評価)</li> <li>・ にこにこ大きくせん。</li> </ul> </li> <li>○ どんなことができたかな <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとうのえがおがいっぱい。→カード(いえのしごとにチャレンジ・しごととはっけんカード)</li> <li>→手紙(他者評価)</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;上&gt;「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生をふりかえろう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ できることがふえたよ。</li> </ul> </li> <li>○ ようこそ小学校へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まっているよ，1年生</li> </ul> </li> <li>○ こんどくる1年生をしょうたいしよう。</li> </ul> <p>&lt;下&gt;「わたしたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2年生でがんばったことをふりかえろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こんなことができるようになったよ。→学校で・あそびで・家で・まちで(相互評価)</li> </ul> </li> <li>○ いまのわたしについて聞いてみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなのすてきをはっけんしよう。→カード(相互評価)</li> </ul> </li> <li>○ いままでのわたしについてしらべよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小さいころのわたしを知りたいな。→インタビュー・電話</li> </ul> </li> <li>○ わかったことをまとめよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わたしのこと，聞いてきたよ。→相互評価</li> </ul> </li> <li>○ はっけんしよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなみんなありがとう。→他者評価</li> </ul> </li> <li>○ ふりかえろう</li> <li>○ ありがとうをつたえよう→手紙</li> <li>○ これからのわたしについて考えよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっとかがやけわたし→手紙・作文</li> <li>・ すてきな3年生になりたいな。</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 吹き出しや絵による相互評価，他者評価を掲載している。カードに教師の朱書きによる他者評価を掲載している。単元「わたしたんけん」では，カードと吹き出しによる相互評価を掲載している。</p>
教出	<p>&lt;上&gt;「かぞくにこにこ大きくせん」→学びのポケット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなの一日をしらべよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まい日どんなことをしているのかな。</li> <li>・ いえの人はどんなふうにならしているのかな</li> </ul> </li> </ul>

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ なにかんじたかな <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いえの人はどんな気持ちですごしているのかな→まんぞくハシゴ</li> </ul> </li> <li>○ できることにちょうせん <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いっしょにできるかな。一人でもできるかな。→カード, 板書</li> </ul> </li> <li>○ 大きくせんをつたえよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなのこともしりたいな。</li> <li>・ なにかんじたかな。→まんぞくハシゴ</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;上&gt;「もうすぐ2年生」→学びのポケット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年かんをおもい出そう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なんかあったかな。</li> <li>・ じぶんにはく手したいことはあるかな。</li> <li>・ なにかんじたかな→作文・まんぞくハシゴ・つたえたいな</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;下&gt;「あしたへつなぐ自分たんけん」→学びのポケット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分について考えよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なんかできるようになったかな。</li> <li>・ ?とくいになったことはあるかな。</li> <li>・ ?まだできていないこともあるかな。</li> </ul> </li> <li>○ まわりの人に聞いてみよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前はどうだったのかな。</li> <li>・ わたしはどんなわたしかな。→他者評価</li> </ul> </li> <li>○ 何をかんじたかな <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分にはく手したいな。→まんぞくハシゴ</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 先生による他者評価, 吹き出しと写真による相互評価を掲載している。まわりの人からの手紙, 友だちからのカードによる他者評価を掲載している。先生の問いに子どもが吹き出しで答える場面が多い。</p>
<p>信教</p>	<p>実物がないため調査・研究できない。</p>
<p>光村</p>	<p>&lt;上&gt;「みんなにこにこ大きくせん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いえの人がにこにこするときはどんなとき</li> <li>○ いえの人のにこにこをみつきたいな</li> <li>○ はじめよう, にこにこ大きくせん→にこにこ大きくせんけいかくしよ</li> <li>○ おしえてみんなのにこにこ大きくせん→にこにこ大きくせんほうこくしよ (相互評価)</li> <li>○ にこにこがいっぱい</li> </ul> <p>&lt;上&gt;「もうすぐみんな2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1ねんかんどんなことがあったかな</li> <li>○ おもいでいっぱい1年生</li> <li>○ あたらしい1年生をしょうたいしよう</li> <li>○ ようこそわたしたちの学校へ</li> <li>○ 大きくなったねわたしたち</li> </ul> <p>&lt;下&gt;「広がれわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今のわたしは, どんなわたし</li> <li>○ あつまれみんなのいいところ→カード (他者評価)</li> <li>○ 今のわたしになるまでに→他者評価</li> </ul>

光村	<p>○ わたしのことほっぴょう会 (まきもの・ランキング・新聞・すごろく)</p> <p>○ 今までのわたし、これからのわたし</p> <p>※ 吹き出しによる相互評価を掲載している。単元「広がれわたし」では、友だちのいいところを「〇〇さんのここがいいねカード」によって他者評価をによるページを特設して掲載している。</p>
啓林館	<p>&lt;上&gt;「ひろがれえがお」</p> <p>○ じぶんやいえの人がえがおになるのはどんなときかな？</p> <p>○ わくわくボックス 1日の生かつをふりかえろう</p> <p>○ みんなにえがおをひろげよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ できることがいっぱいあるね。</li> </ul> <p>○ ひろがったえがおをつたえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こんなことにちようせんしたよ。→手紙 (相互評価)</li> </ul> <p>&lt;上&gt;「もうすぐ2年生」</p> <p>○ 1年かんでどんなことがあったかな？→ランキング</p> <p>○ わくわくボックス 1年かんでふりかえろう</p> <p>○ できるようになったことをあつめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たくさんがんばったよ。→他者評価・相互評価</li> </ul> <p>○ あたらしい1年生をしょうたいしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしたらよろこんでもらえるかな。</li> </ul> <p>○ しょうたいしたことをふりかえろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからもなかよくしたいね。→相互評価</li> </ul> <p>&lt;下&gt;「1年生をむかえよう」</p> <p>○ お兄さんお姉さんになったんだね。</p> <p>&lt;下&gt;「これまでのわたしこれからのわたし」</p> <p>○ できるようになったことは何かな？→相互評価</p> <p>○ わくわくボックス 大きくなった自分をふりかえろう</p> <p>○ 自分についてしらべよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなことがあったかな。→「自分すてきカード」「友だちすてきカード」 他者評価</li> </ul> <p>○ 自分のせい長をまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つたえたいことがたくさんあるよ。(新聞・紙しばい・まきもの)</li> </ul> <p>○ ありがとうをとどけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなにささえてもらったね。</li> </ul> <p>※ 多くの吹き出しによる相互評価を掲載している。「〇〇さんのすてき」等、手紙による他者評価や相互評価を掲載している。</p>
日文	<p>&lt;上&gt;「じぶんでできるよ」</p> <p>○ 1日のことをおもい出そう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなことをしているのかな。</li> </ul> <p>○ できることをしてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなことができるかな。→相互評価</li> </ul> <p>○ これからもつづけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなことがわかったかな。→板書</li> </ul>

<p>日文</p>	<p>〈上〉「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年かんをふりかえろう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなことがあったかな。→相互評価</li> </ul> </li> <li>○ じぶんのせいちょうをみんなにつたえよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ できるようになったことはなにか。→相互評価</li> </ul> </li> <li>○ あたらしい1年生をしょうたいしよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろなことをおしえてあげたいな。</li> </ul> </li> <li>○ もうすぐ2年生だね <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なにをがんばろうかな。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈下〉「こんなに大きくなったよー広がれわたしー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ わたしのいいところ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わたしはどうかな。友だちはどうかな。→相互評価</li> </ul> </li> <li>○ 自分のせい長のひみつをみつけよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わたしのことをくわしく知りたいな。→板書（インタビュー・電話・手紙）</li> </ul> </li> <li>○ 自分のものがたりをまとめよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな方ほうにしようかな。（新聞・まきもの・スライドショー）</li> </ul> </li> <li>○ せい長はっぴょう会をひらこう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わたしのせい長を知ってほしいな。→○○のおかげで</li> </ul> </li> <li>○ 3年生になるのが楽しみだね <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんなことにチャレンジしようかな。</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 「ふりかえる つなげる」コーナーで相互評価、他者評価を掲載している。吹き出しによって相互評価を掲載している。付箋や手紙によって他者評価を掲載している。</p>
-----------	---



【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫
方 法	○生活のきまりや安全についての記述等

発行者	調査・研究内容
東書	<p>〈上〉「みんなでつうがくろをあるこう」 「つうがくろのあんぜん」「がっこうのあんぜん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登下校の安全に関わる人やものや留意点, 災害発生時の行動に関する留意点や情報, 学校内の安全設備について掲載</li> </ul> <p>○ 「やくそく」コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動場面での必要なきまりや安全面に関する情報を黄色枠で右ページ上に掲載</li> </ul> <p>○ 「!ちゅうい」マーク 「とげにちゅうい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全面での配慮が必要な対象を提示 写真とともに具体的に掲示されている。</li> </ul> <p>○ 「てをあらおう うがいをしよう」マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生面での配慮の必要性を提示 各活動の全ての箇所にマークがある。</li> </ul> <p>○ 「どうぐをただしくあんぜんにつかおう」マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全面での配慮の必要性を提示</li> </ul> <p>○ 「かつどうべんりてちょう」(上巻末及び下巻末) 13 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯, 防災, 健康, 衛生, 道具の安全な使い方, 後片付け, 乗り物の乗り方について掲載。活動中いつでも開いて使えるようになっている。</li> </ul>
大日本	<p>〈上〉「がっこうにくるみちかえるみち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登下校の安全に関わる人やもの, こども110番の家や表示, あそびのきまりを掲載</li> </ul> <p>○ 「あるくとき」コーナー ・安全な歩行について掲載</p> <p>○ 「やくそく」カード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生面での配慮の必要性や安全に活動するための留意点について提示</li> </ul> <p>○ 「!」マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全面での配慮が必要な対象や活動を提示</li> </ul> <p>○ 「がくしゅうどうぐばこ」(上巻末及び下巻末) 11 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身を守るために気を付けること, 防犯, 交通安全, 防災, 道具の安全な使い方, 後片付け, 乗り物の乗り方について掲載</li> </ul>
学図	<p>○ 「やくそく」コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動場面での必要なきまりや安全面や健康面に関する情報を掲載</li> </ul> <p>○ 「ちゅうい」マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全面での配慮が必要な対象や活動を提示</li> </ul> <p>○ てあらいうがいのマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生面での配慮の必要性を提示 活動時の初めのページに記載</li> </ul> <p>〈下〉「まちのすてきをまとめよう」(「ものしりノート」)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り物の乗り方について掲載</li> </ul> <p>○ 「学び方図かん」「あんぜんのぺえじ」(上巻末及び下巻末) 6 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通安全, 防犯, 防災, 避難の仕方, 道具の安全な使い方, 後片付けについて記載されている。</li> </ul>

教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「やくそく」コーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全面での配慮が必要な対象や道具の安全な使い方や活動の時の留意点を掲載</li> </ul> </li> <li>○ 「あんぜんなせいかつ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登下校の安全に関わる人やもの、学校での避難の仕方、学校内の安全設備について掲載</li> </ul> </li> <li>○ 「てあらいうがい」マーク <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生面での配慮の必要性を提示</li> </ul> </li> <li>〈下〉「たんけんの計画を立てよう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路歩行時の留意点を提示</li> <li>「うごくおもちゃを作ろう」</li> <li>・ 遊び方、道具の使い方について安全面の配慮記載</li> </ul> </li> <li>○ 「学びのポケット」(上巻末及び下巻末) 10 ページ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道具の安全な使い方、後片付け、防犯、防災、天気の変化の留意点、乗り物の乗り方について掲載</li> </ul> </li> </ul>
信教	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実物がないため調査・研究できない。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「！」マーク <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生面での配慮の必要性や安全面での配慮が必要な対象を黒字で提示</li> </ul> </li> <li>○ 「どうすれば」コーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登下校中や活動場面での留意点や、道具の安全な使い方や片付けについて提示</li> </ul> </li> <li>○ 「ひろがるせいかつじてん」(上巻末及び下巻末) 6 ページ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通安全、避難の仕方、防犯、道具の安全な使い方、健康、衛生について掲載</li> </ul> </li> </ul> <p>イラスト、文字が小さい</p>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈上〉「スタートブック」「つうがくろのあんしんあんぜん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登下校中の安全、防災、防犯に関する情報を掲載</li> </ul> </li> <li>〈上〉「いくぞ! がっこうたんけんたい」「がっこうのまわりをあるいてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登下校の安全に関わる人やもの、こども110番の家や表示を掲載</li> <li>「がっこうのあんしんあんぜん」</li> <li>・ 防災、防犯、避難の仕方について掲載</li> </ul> </li> <li>○ 「手を洗おうマーク」 各活動の全ての箇所 左ページ下に掲載</li> <li>○ 「みんなであそぼう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全に遊ぶためのきまりを提示</li> </ul> </li> <li>○ 「気をつけよう!」「こんなときどうしよう!」コーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右ページ上に安全面での配慮が必要な活動や対象を提示</li> </ul> </li> <li>○ 「がくしゅうずかん」(上巻末及び下巻末) 6 ページ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り物の乗り方、道具の安全な使い方、後片付け、防災、健康、衛生について記載</li> </ul> </li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈上〉「みんなのつうがくろをあるいてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登下校の安全に関わる人やもの、こども110番の表示を掲載</li> </ul> </li> <li>○ 「出かけるまえにかくにんしておこう」コーナー、「！」マーク (黄色) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全面での配慮が必要な対象や活動を提示</li> </ul> </li> <li>○ 「〇〇のちゅうい」コーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全面、健康面での配慮が必要な活動を提示 右側ページ縦列か下側に横一列で提示</li> </ul> </li> <li>○ 「みのまわりのあんぜん」</li> </ul>

<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校内にある安全設備や避難訓練について、登下校の安全や防犯，防災に関する留意点を掲載</li> <li>○ 「手をあらおう」マーク <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生面での配慮の必要性を提示 各活動ページに記載</li> </ul> </li> <li>○ 「あれるぎいにきをつけよう」マーク <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康面での配慮の必要性を提示</li> </ul> </li> <li>〈下〉「町たんけん1」 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「気をつけることはなにかな」コーナー</li> <li>○ 「しせつのつかい方のやくそく」コーナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通安全や安全面への配慮の必要性を提示</li> </ul> </li> <li>○ 「ちえとわざのたからばこ」（上巻末及び下巻末）8ページ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道具の安全な使い方，後片付け，交通安全，防災，防犯，健康，衛生，乗り物の乗り方を掲載</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
-----------	--

【生活】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方 法	○おもちゃをつくる単元の導入ページの内容

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「うごく うごく わたしのおもちゃ」</p> <p>○ 1ページの上半分が写真とイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童3名がはねるおもちゃで遊んでいる写真</li> <li>・ 児童3名と教師が動くおもちゃ（ゴム・風・おもりで動く）で遊んでいるイラスト</li> <li>・ イラストの児童2名の吹き出し「うごいたよ。おもしろいね。」「つくってみたいな。」を記載している。</li> </ul>
大日本	<p>「つくる楽しさ はっけん」</p> <p>○ 見開き2ページの写真とイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童6名が青空の下、校庭で飛ぶおもちゃで遊んでいる写真</li> <li>・ イラストの児童1名が、飛ぶおもちゃの写真を見ている。</li> </ul>
学図	<p>「作って あそぼう うごく おもちゃ」</p> <p>○ 見開き2ページの写真とイラスト（写真3枚）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童2名が動くおもちゃで競争している写真（大）（小）</li> <li>・ 児童1名が飛ばすおもちゃで遊んでいる写真（小）</li> <li>・ 児童4名がダンボールに入った材料（写真）を見ているイラスト</li> <li>・ 女の子がまわるおもちゃを想像している吹き出しのイラスト</li> </ul> <p>○ 「自分のおもちゃを作って、みんなであそぼう。どんなあそびができるかな。」を記載している。</p>
教出	<p>「作ってためして」</p> <p>○ 見開き2ページの写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童6名がそれぞれ異なったおもちゃを持っている。</li> <li>・ 写真の児童2名の「はやく園の時空きばこで車を作ったことがあるよ。」「うごいたらおもしろいね。」と写真の教師1名の「うごくおもちゃなんて作ることができるのかな。」の吹き出しを記載している。</li> </ul>
信教	<p>実物がないため調査・研究できない。</p>
光村	<p>「あそんで ためして くふうして」</p> <p>○ 見開き2ページの写真とイラスト（児童がイラストになっている）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数種類の材料が入った箱の写真とイラストが組み合わせられている。</li> <li>・ 6つのキーワード「つむ」「ならべる」「回す」「ふく」「はじく」「ころがす」がイラスト入りで記載され、材料の箱（ガラクタカラバコと記載）と線で結んでいる。</li> <li>・ 学習の流れ「ホップ」（見つける。）→「ステップ」（くふうしてあそぶ。）→「ジャンプ」（ふりかえる。もっとやってみる。）をイラストで記載している。</li> <li>・ 「ふる」「とばす」「たたく」「こする」のキーワードを材料の箱の周りに記載している。</li> </ul>

啓林館	<p>「せかいでひとつわたしのおもちゃ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの写真(大) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童7名がそれぞれ異なったおもちゃを持っている。</li> <li>・ 材料10種類の写真・イラストの児童2名の吹き出し</li> <li>・ 夏休み作品展を見て「5年生の作ひんはすごいね。」「ぼくもおもちゃを作りたいな。」を記載している。</li> </ul> </li> </ul>
日文	<p>「あそび名人になろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの1枚の写真のみ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童3名がさまざまな形のカップのふたを回して回り方を比較している。</li> <li>・ 写真の奥では、児童2名がうちわを使って遊んでいる。</li> </ul> </li> </ul>

【生活】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥振り返り表現する活動の工夫
方 法	○栽培单元におけるワークシートの例示

発行者	調査・研究内容
東書	<p>〈上〉</p> <p>○ あさがお</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (あさがお) 種の絵と1文 罫線なし</li> <li>・ (あさがおがたいへんです) 絵と2文 罫線1本</li> <li>・ (あさがおの つぼみ) 絵と3文 罫線2本</li> </ul> <p>合計8枚のワークシートを例示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートをまとめた蛇腹折りの本が記載されている。</li> </ul> <p>〈下〉</p> <p>○ トマト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (わきめつみをしました。) 絵と文 罫線5本</li> <li>・ (ミニトマト) 3段に分かれていて、野菜の様子、やってみたいこと、気付いたことをそれぞれ書くようになっている。合計4枚のワークシートの例示</li> <li>・ キュウリの成長ニュースやお世話になった人への感謝の手紙の例示がある。</li> </ul> <p>※ ワークシートの例示は上巻8枚下巻4枚の合計12枚、次第に罫線の数が増加している。タイトルは毎回異なる。「かあどのかきかた」の特設ページが上巻に2ページあり、観察の仕方や大事なことが記載されている。下巻は自分を一緒に描いた絵が示されている。</p>
大日本	<p>〈上〉</p> <p>○ あさがお</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (あさがおにつき) 双葉と土から出かけた芽の絵と2文 罫線2本</li> <li>・ (あさがおにつき) つるに巻き付いているアサガオの葉の絵 罫線2本</li> <li>・ (あさがおにつき) つるに巻き付いているアサガオの絵 罫線2本</li> <li>・ (あさがおにつき) アサガオの花とつぼみの絵 罫線4本</li> </ul> <p>ワークシートの数は4枚</p> <p>〈下〉</p> <p>○ イチゴ・エンドウマメ・ミニトマト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (まっ赤なイチゴができたよ) イチゴの実と花、葉の絵 罫線3本</li> <li>・ (ミニトマト日記) トマトの苗の絵 罫線5本</li> <li>・ (キュウリ日記) キュウリを育てている絵 罫線5本</li> <li>・ エンドウマメ、ナスやカボチャ、ミニトマトを食べた様子が書かれたワークシートが3枚</li> </ul> <p>※ アサガオのワークシートの数は上巻4枚下巻3枚の合計7枚。下巻は継続的な記録ではなく、3種類のワークシートを示している。育てたものを収穫し、食べた様子を書かれたワークシートが3枚記載されている。</p>

<p>学図</p>	<p>〈上〉</p> <p>○ あさがお</p> <p>タイトルは全て（わたしのあさがお）書いた時の気持ちをマークで表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種をまいている自分とアサガオの鉢の絵 1文 罫線なし</li> <li>・ 双葉と土から出かけた芽の絵と自分の手 2文 罫線2本</li> <li>・ 双葉と自分の絵 絵の横に文章 1文 罫線なし</li> <li>・ 本葉と自分の手の絵 罫線3本</li> <li>・ 支柱を立てている自分とアサガオの絵 罫線3本（以下同じ）</li> <li>・ アサガオの花が咲いた様子の絵</li> <li>・ 咲いた花の数を記載するカード</li> <li>・ アサガオを抜き、根を見せている自分の絵 罫線4本</li> <li>・ 「思い出してみよう」のページでワークシートをアサガオと自分の成長写真と並べて示している。（ワークシート数8枚）</li> <li>・ ワークシートを本にしたり、作文を書いたりした例示がある。</li> </ul> <p>〈下〉</p> <p>○ ミニトマト</p> <p>タイトルは全て「野さい日記」トマトの成長日記 絵と文で記述 横書き罫線7行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（そだてるなえをきめたよ）児童2人とミニトマトの苗（ワークシート数7枚）</li> </ul> <p>※ タイトルは上下巻共に同じになっている。罫線の数など発達段階に応じたものになっている。ワークシートは上巻8枚下巻7枚合計15枚。</p>
<p>教出</p>	<p>〈上〉</p> <p>○ あさがお</p> <p>タイトルは「きれいにさいてね」であるが、副題を自分が書くことになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（たねをまいたよ）あさがおの種の絵 他社より小さい絵 罫線なし</li> <li>・（めがでたよ）からをかぶった芽の絵と水をやっている様子 罫線3本</li> <li>・（つるがからまりそうだったよ） 友達のあさがおのつると絡まってしまった様子を描いた絵 罫線4本</li> <li>・（はながさいたよ）あさがおの花とつぼみの絵 罫線4本</li> <li>・（あさがおさんありがとう）あさがおの種を取っている様子 罫線4本</li> <li>・ ワークシートをひもで閉じて本にした例を示したページがある。</li> </ul> <p>〈下〉</p> <p>○ ミニトマト</p> <p>タイトルは「おいしい野菜になあれ」であるが、副題を自分が書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（ミニトマトのなえをうえたよ）トマトの苗の絵 罫線6行（以下同様）</li> <li>・（わきめをつむことがわかったよ）わき芽を摘んでいる絵</li> <li>・（ミニトマトのみがつきはじめたよ）トマトの実を見上げている自分の絵</li> <li>・（ミニトマトさんおいしくそだってくれてありがとう）収穫している自分</li> <li>・（野菜はかせさんありがとう）農家の人と自分とトマトの絵と文</li> </ul> <p>※ 上下巻共に自分の言葉でタイトルをつけさせており伝えたいことがタイトルで明確になっている。下巻では男女2人の記録を掲載しており、違いも分かる。ワークシートの大きさがやや大きめで、書かれている文章量が多い。（上巻5下巻5計10枚）</p>

信教	実物がないため調査・研究できない。
光村	<p>〈上〉</p> <p>○ あさがお</p> <p>タイトルは「さかせたいなわたしのはな」副題を自分が書くことになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (あさがおのたね) 種を3つ描いている。絵と文で記述 罫線3行</li> <li>・ (たねをまいた) 3つの種をまいている。土とアサガオと水の絵 罫線3行</li> <li>・ (めがでた) 双葉の絵 罫線3行</li> <li>・ (はっぱがふえた) 双葉と本葉2枚の絵 罫線4行 (以下同様)</li> <li>・ (しちゅうをたてた) 支柱とアサガオの絵</li> <li>・ (つぼみをみつけた) つぼみとがくだけの絵</li> <li>・ (はながさいた) 花だけの絵 罫線5行</li> <li>・ (たねをとった) 種だけの絵 罫線5行</li> </ul> <p>〈下〉</p> <p>○ ミニトマト・キュウリ・ナス</p> <p>タイトルは「ぐんぐんそだておいしいやさい」副題を自分が書くことになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (ミニトマトのなえをうえた) トマトの苗の絵 罫線6行 (以下同様)</li> <li>・ (ミニトマトのにおい) トマトの葉1枚の絵。</li> <li>・ (キュウリの花がさいた) キュウリの花の絵 (雄花と雌花)</li> <li>・ (わきめつみを教えてもらった) トマトのわき芽の絵</li> <li>・ (ミニトマトをとった) ミニトマトの実の絵</li> <li>・ (おいしそうなナス) ナスの実だけの絵</li> </ul> <p>※ 上下巻共、全てのワークシートを蛇腹につなげたページがありまとめ方を紹介している。どちらもワークシートの大きさが小さく、絵もアサガオや野菜の部位だけを書いたものが多い。ワークシートは上巻8枚下巻6枚合計14枚、下巻は5人の児童のワークシートを掲載しているがいずれも同じような書き方で、野菜の部位だけが描かれている。タイトルは「したこと」が書かれている。</p>
啓林館	<p>〈上〉</p> <p>○ あさがお</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (たねをまいたよ) 虫眼鏡のイラストの中に絵と文で記述 罫線なし</li> <li>・ (おおきくなってうれしいな) あさがおのつるの絵 罫線2本</li> <li>・ (きれいでかわいいよ) あさがおのはたと手の絵 罫線3本</li> <li>・ (たねをみつけたよ) あさがおの実と種の絵 罫線5本</li> </ul> <p>〈下〉</p> <p>○ 土づくり・ミニトマト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (ふかふかの土ができた) 土を耕している自分と名人の方の絵</li> <li>・ (なえをうえたよ) ミニトマトの苗の絵</li> <li>・ (大きくなってうれしいな) わきめを摘んでいる自分とトマトの絵</li> <li>・ (やっとミニトマトができたよ) なっているミニトマトの絵</li> </ul> <p>※ 絵の上に「見た・聞いた・におった・さわった・おもった」のバーがあり、使った技を色塗りするようになっており、多様な観察方法を意識させている。</p>



<p>日文</p>	<p>〈上〉</p> <p>○ あさがお</p> <p>タイトルは全て「はっけんかあど」 絵と文で記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虫眼鏡のイラストの中にあさがおの種の絵 文で記述（あさがお）の記述なし</li> <li>・ 虫眼鏡のイラストの中に双葉とトンネルの絵 罫線4行（書いているのは2行）</li> <li>・ 支柱を立てた自分とアサガオの絵 罫線3行（減っている）</li> <li>・ あさがおの花の絵 罫線4行</li> <li>・ 全部を繋いだ絵の最後に実と種の絵</li> </ul> <p>〈下〉</p> <p>○ 育てたい野菜の計画表・キュウリ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ （うえかえをしたよ）キュウリの苗の絵</li> <li>・ キュウリの葉っぱの絵と花の絵（2回分の記録が2段になっている）</li> <li>・ 茎にアブラムシが付いていた・実がなった。（2回分の記録）</li> </ul> <p>※ 上巻のワークシートにタイトルがなく、「あさがお」の言葉が出ているのは3枚目である。文章は比較的短く、分量も多くはない。上巻4枚（まとめも入れると5枚）下巻3枚合計7枚 下巻は記録ノートのような形式になっている。</p>
-----------	--

【生活】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦単元や資料等の配列及び分量
方 法	○単元名及び総ページ数, スタートカリキュラムの内容

発行者	調査・研究内容																												
東書	<p>〈上〉総ページ数123 (9単元) (「」内は単元名, 数字は単元のページ数)</p> <p>「どきどきわくわく1ねんせい」…13</p> <p>「がっこうだいすき」…13</p> <p>「きれいにさいてね」…13</p> <p>「なつがやってきた」…17</p> <p>「いきものとなかよし」…9</p> <p>「たのしいあきいっぱい」…8</p> <p>「じぶんでできるよ」…17</p> <p>「ふゆをたのしもう」…9</p> <p>「もうすぐ2ねんせい」…18</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かつどうべんりてちょう</li> <li>・ ポケットずかん</li> </ul> <p>〈下〉総ページ数129 (9単元)</p> <p>「春だ今日から2年生」…1</p> <p>「ぐんぐんそだてわたしの野さい」…8</p> <p>「どきどきわくわくまちたんけん」…10</p> <p>「生きものなかよし大作せん」…14</p> <p>「うごくうごくわたしのおもちや」…12</p> <p>「みんなでつかうまちのしせつ」…12</p> <p>「もっとなかよしまちたんけん」…21</p> <p>「つながる広がるわたしの生活」…12</p> <p>「あしたへジャンプ」…22</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かつどうべんりてちょう</li> </ul> <p>○ スタートカリキュラムに関する内容</p> <p>「どきどきわくわく1ねんせい」ページ数13 A4判 スタートカリキュラムサイズあり</p>																												
	<table border="1"> <tr> <td>保護者へ</td> <td>3か所</td> <td>時間めやす</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>幼児10の姿</td> <td>ことば+イラスト</td> <td>2次元コード</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>幼→小つながり</td> <td>絵+写真</td> <td>絵本ページ</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>合科・関連</td> <td>教科アイコン表示</td> <td>写真</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td>約31</td> <td>イラスト</td> <td>17+キャラクター3</td> </tr> <tr> <td>1ページ情報</td> <td>2. 38</td> <td>1ページ情報</td> <td>4. 46</td> </tr> <tr> <td>文字</td> <td>少ない6位/7社</td> <td>写真・絵</td> <td>少ない4位/7社</td> </tr> </table>	保護者へ	3か所	時間めやす	×	幼児10の姿	ことば+イラスト	2次元コード	×	幼→小つながり	絵+写真	絵本ページ	×	合科・関連	教科アイコン表示	写真	38	コメント	約31	イラスト	17+キャラクター3	1ページ情報	2. 38	1ページ情報	4. 46	文字	少ない6位/7社	写真・絵	少ない4位/7社
	保護者へ	3か所	時間めやす	×																									
	幼児10の姿	ことば+イラスト	2次元コード	×																									
	幼→小つながり	絵+写真	絵本ページ	×																									
	合科・関連	教科アイコン表示	写真	38																									
	コメント	約31	イラスト	17+キャラクター3																									
	1ページ情報	2. 38	1ページ情報	4. 46																									
	文字	少ない6位/7社	写真・絵	少ない4位/7社																									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の1日を写真で示す。</li> <li>・ 生活科を中心に幼児教育 (縦のつながり) 各教科 (横のつながり) を写真と教科マークで示す。</li> </ul>																											

大日本

〈上〉総ページ数129 (5単元) (スタートカリキュラム含む)

- 「しょうがっこうせいかつはじまるよ」…7
- 「みんななかよし」…28
- 「なつとなかよし」…14
- 「あきとなかよし」…30
- 「ふゆとなかよし」…30

- ・ がくしゅうどうぐばこ

〈下〉総ページ数137 (5単元)

- 「春はっけん」…26
- 「生きものはっけん」…22
- 「わたしの町はっけん」…22
- 「つくる楽しさはっけん」…10
- 「自分はっけん」…24

- ・ がくしゅうどうぐばこ

○ スタートカリキュラムに関する内容

「しょうがっこうせいかつはじまるよ」ページ数7 スタートカリキュラムサイズあり

保護者へ	0か所	時間めやす	時計で表示
幼児10の姿	×	2次元コード	×
幼→小つながり	キャラクター やったことあるよのみ	絵本ページ	表紙→表紙裏→1ページと幼 ～小へのつながりを表現
合科・関連	教科名表示	写真	15
コメント	約13	イラスト	22+キャラクター23

- ・ 登校から下校まで学校の1日の流れを写真と→で示す。
- ・ 合科的関連的な授業を意識し、「教科」のつながりや活動時間のめやすを示している。

学図

〈上〉総ページ数124 (11単元) (スタカ含む)

- 「がっこうだいすき」…2
- 「がっこうたんけん」…14 「わたしのあさがお」…22
- 「あそびにいこうよ」…12
- 「あつくなつたよ」…8
- 「あきをたのしもう」…12
- 「ふゆをたのしもう」…12
- 「いきものだいすき」…10
- 「むしだいすき」…4
- 「ありがとうがいっぱい」…10
- 「もうすぐ2年生」…8

- ・ せいかつか まなびかた ずかん

〈下〉総ページ数129 (6単元)

- 「まちたんけん」…2
- 「あの人に会いたいな」…14
- 「わたしたちの野さいばたけ」…20
- 「生きものと友だち」…20

<p>学図</p>	<p>「作ってあそぼううごくおもちゃ」…14  「わたしたんけん」…16  ・ 生活科学び方図かん</p> <p>○ スタートカリキュラムに関する内容  「がっこうだいすき」 ページ数8 スタートカリキュラムサイズあり</p> <table border="1" data-bbox="347 434 1353 696"> <tr> <td>保護者へ</td> <td>1か所</td> <td>時間めやす</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>幼児10の姿</td> <td>×</td> <td>QRコード</td> <td>1か所 じゃんけん列車</td> </tr> <tr> <td>幼→小つながり</td> <td>×</td> <td>絵本ページ</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>合科・関連</td> <td>×</td> <td>写真</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td>約17</td> <td>イラスト</td> <td>35</td> </tr> </table> <p>・ 紙面からの情報を精選するため写真を排し、イラストのみの構成となっている。  ・ 子供や保護者の不安を取り除くために、保護者に向けてのメッセージ（1か所）が示されている。</p>	保護者へ	1か所	時間めやす	×	幼児10の姿	×	QRコード	1か所 じゃんけん列車	幼→小つながり	×	絵本ページ	×	合科・関連	×	写真	0	コメント	約17	イラスト	35
保護者へ	1か所	時間めやす	×																		
幼児10の姿	×	QRコード	1か所 じゃんけん列車																		
幼→小つながり	×	絵本ページ	×																		
合科・関連	×	写真	0																		
コメント	約17	イラスト	35																		
<p>教出</p>	<p>〈上〉総ページ数136（9単元）（スタートカリキュラム含む）  「きょうから1ねんせい」…6  「わくわくどきどきしょうがっこう」…16  「きれいにさいてね わたしのはな」…16  「きせつとなかよし はる・なつ」…16  「なかよくなろうね小さなともだち」…10  「きせつとなかよし あき」…20  「かぞくにこにこ大きくせん」…12  「きせつとなかよし ふゆ」…14  「もうすぐ2年生」…9  ・ 学びのポケット</p> <p>〈下〉総ページ数136（7単元）  「わくわく2年生」…5  「めざせ野さい作り名人」…18  「まちが大すきたんけんたい」…22  「めざせ生きものはかせ」…14  「えがおのひみつたんけんたい」…14  「作ってためして」…20  「あしたへつなぐ自分たんけん」…13  ・ 学びのポケット</p> <p>○ スタートカリキュラムに関する内容  「絵本」 ページ数5  「きょうから1ねんせい」 ページ数6 スタートカリキュラムサイズなし（上部に色がある）</p> <table border="1" data-bbox="363 1899 1369 2027"> <tr> <td>保護者へ</td> <td>×</td> <td>時間めやす</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>幼児10の姿</td> <td>幼児の姿 イラスト</td> <td>2次元コード</td> <td>×</td> </tr> </table>	保護者へ	×	時間めやす	×	幼児10の姿	幼児の姿 イラスト	2次元コード	×												
保護者へ	×	時間めやす	×																		
幼児10の姿	幼児の姿 イラスト	2次元コード	×																		

幼→小つながり	児童の姿 写真	絵本ページ	見開き3ページ
合科・関連	教科名	写真	38
コメント	約14	イラスト	10+キャラクター3

・ 幼児期から親しんだ絵本から生活科をスタートしている。  
 ・ 下段「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」(イラスト)を上段「学校生活」(写真)イラストと同じ場面の学校生活を掲載。幼児期の学びと学校生活、教科学習のつながりを示している。

信教 実物がないため調査・研究ができない。

光村	<p>〈上〉総ページ数148(9単元)</p> <p>「あたらしい いちねんせい」…10  「なかよし いっぱい だいさくせん」…14  「さかせたいな わたしの はな」…18  「なつだ とびだそう」…16  「いきものと なかよし」…12  「あきと いっしょに」…12  「みんなの にこにこ 大きくせん」…14  「ふゆと ともだち」…24  「もう すぐ みんな2年生」…12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジャンプ大しゅうごう</li> <li>・ ひろがるせいかつじてん</li> </ul> <p>〈下〉総ページ数108(7単元)</p> <p>「さあ、きょうから 2年生」…2  「まちを たんけん 大はっけん」…12  「ぐんぐん そだて おいしい やさい」…18  「小さな 友だち」…12  「あそんで ためして くふうして」…16  「もっと もっと まちたんけん」…14</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ きせつのおくりもの8</li> <li>・ 広がれ わたし」…10</li> <li>・ ジャンプ 大しゅうごう…2</li> <li>・ ひろがる せいかつじてん…10</li> </ul> <p>○ スタートカリキュラムに関する内容</p> <p>「あたらしい1ねんせい」 ページ数10 スタートカリキュラムサイズなし</p>																			
	<table border="1"> <tr> <td>保護者へ</td> <td>×</td> <td>時間めやす</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>幼児10の姿</td> <td>10の姿を児童の姿として表現(写真)</td> <td>2次元コード</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>幼→小つながり</td> <td>小学校での姿で表現(写真)</td> <td>絵本ページ</td> <td>見開き1ページ</td> </tr> <tr> <td>合科・関連</td> <td>イラスト</td> <td>写真</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>コメント</td> <td>約22</td> <td>イラスト</td> <td>29</td> </tr> </table> <p>     ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の10項目を児童の写真で示してある。   </p>	保護者へ	×	時間めやす	×	幼児10の姿	10の姿を児童の姿として表現(写真)	2次元コード	×	幼→小つながり	小学校での姿で表現(写真)	絵本ページ	見開き1ページ	合科・関連	イラスト	写真	49	コメント	約22	イラスト
保護者へ	×	時間めやす	×																	
幼児10の姿	10の姿を児童の姿として表現(写真)	2次元コード	×																	
幼→小つながり	小学校での姿で表現(写真)	絵本ページ	見開き1ページ																	
合科・関連	イラスト	写真	49																	
コメント	約22	イラスト	29																	

啓林館

- 〈上〉総ページ数132 (10単元)  
 「がっこうだいすき あいうえお」… (別ページ 1~16)  
 「いくぞ! がっこう たんけんたい」…18  
 「げんきに そだて わたしの はな」…14  
 「あそびばに でかけよう」…10  
 「なつと なかよし」…14  
 「生きもの 大すき」…14  
 「あきと なかよし」…14  
 「ひろがれ えがお」…12  
 「ふゆと なかよし」…10  
 「もう すぐ 2年生」…11  
 ・ がくしゅうずかん…13
- 〈下〉総ページ数128 (8単元)  
 「新しい こと いっぱい」…10  
 「大きく そだて わたしの 野さい」…14  
 「とび出せ! 町の たんけんたい」…16  
 「みんな 生きて いる」…16  
 「せかいで ひとつ わたしの おもちや」…14  
 「もっと 知りたい たんけんたい」…14  
 「町の すてき つたえたい」…12  
 「これまでの わたし これからの わたし」…11  
 ・ がくしゅうずかん…19  
 ・ 3年生へのステップアップ みらいに むかって… (別ページ1~8)

○ スタートカリキュラムに関する内容

「がっこうだいすき あいうえお」 ページ数16 スタートカリキュラムサイズあり

保護者へ	2か所	時間めやす	×
幼児10の姿	10の姿を幼児の姿で表現 (写真)	2次元コード	1じゃんけん列車・あくしゅ・手をたたきましよう
幼→小つながり	幼児と児童の写真	絵本ページ	×
合科・関連	教科名+アイコン	写真	46
コメント	約34	イラスト	14+キャラクター5

- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の10項目を意識した幼児の写真が示してある。
- ・ 1ページあたりの情報量が少ない。
- ・ ページ数に読み方がある。(1 いち)

日文

- 〈上〉総ページ数143 (9単元)  
 「いちねんせいに なったら」…14  
 「がっこうを たんけんしよう」…16  
 「きれいな はなを さかせたい」…14  
 「きせつと あそぼう -はるから なつ-」…18  
 「生きものと なかよく なろう」…8  
 「きせつと あそぼう -あき-」…18

日文

- 「じぶんで できるよ」…10  
「きせつと あそぼう -ふゆ-」…12  
「もうすぐ 2年生」…10  
・ ちえと わざの たからばこ…19  
(下) 総ページ数135 (8単元)  
「2年生が はじまるよ」…6  
「町たんけん1 -みんなで つかう 場しょへ 行こう-」…12  
「ぐんぐん そだて みんなの 野さい」…18  
「夏休みを 楽しく すごそう」…4  
「生きものはかせに なろう」…18  
「町たんけん2 -グループで 出かけよう-」…18  
「あそび名人に なろう」…20  
「こんなに 大きく なったよ -広がれ わたし-」…12  
・ ちえと わざの たからばこ…23

○ スタートカリキュラムに関する内容 ページ数17 スタートカリキュラムあり

保護者へ	1か所	時間めやす	×
幼児10の姿	×	2次元コード	×
幼→小つながり	活動写真でつなぐ	絵本ページ	×
合科・関連	アイコン	写真	58
コメント	約63	イラスト	12

【生活】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方 法	○キャラクター・マークの工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6名の児童(挿絵)が登場し、活動を展開している。</li> <li>○ キャラクター「まなびい」「ずかんちゃん」が、児童に思考や活動、安全や衛生上で留意することを促している。</li> <li>○ 「てをあらおう・うがいをしよう」マークで安全面・衛生上の注意を促している。</li> <li>○ 「どうぐをたたくあんぜんにつかおう」マークで技能が必要な活動を示している。</li> <li>○ 「ちゅうい」「とげにちゅうい」マークで、安全上の配慮が必要な対象を示している。</li> <li>○ 「ずかんちゃん」マークで、「ポケットずかん」の活用を促している。</li> <li>○ 「かつどうべんりてちょう」マークで、巻末資料を参照するように促している。</li> <li>○ 他教科等との関連が深いところを、関連が分かるページで示している。</li> <li>○ 「Dマーク」で、教科書と関連する情報がWebページにあることを示している。</li> </ul>
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 名前のないキャラクターが、児童に思考や活動を促したり、安全上の注意を喚起したりしている。</li> <li>○ 見開き内に風船マークで、課題を示している。</li> <li>○ 「！」マークで、安全上の注意を促している</li> <li>○ 見開きページ右端にコラムを設け、「せいかつことば」や「きらきらことば」のマークをつけ、語彙力の向上や言語能力の育成を図ったり、仲間づくりを深めたりするための言葉を示している。</li> <li>○ リンクマークに巻末資料ページ「がくしゅうどうぐばこ」のページを示している。</li> <li>○ 他教科との関連が深いところに、関連が分かるマークが示されている。</li> <li>○ 「パソコン」のマークで、活動に際して参考となる情報がWebにあることを示している。</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元名の前に、単元の内容に関するマークを掲載している。</li> <li>○ 4名の児童(挿絵)が繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ 「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」マークで、学習の過程のどの場面かを示し、「見える化」され、単元全体の見通しがもちやすい。</li> <li>○ 「まなびかたずかん」マークで、生活科の学習に役立つ基本的な学習方法が分かる資料ページを見るように促している。</li> <li>○ 「手洗い・うがいマーク」で安全、衛生上の注意を促している。</li> <li>○ 「ちゅういマーク」で、安全上の配慮が必要な対象や注意を促している</li> <li>○ 二次元コードで、活動に際して参考となる情報がWebページにあることを示している。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ児童(写真)2名と先生(写真)2名が、第1学年と第2学年で繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ 「サイコロ」のマークで、生活科で育成する力を6つ(気づく・自分でできる・考える・伝える・挑戦する・自信をもつ)を抽出してサイコロに示している。</li> <li>○ 「はてな」キャラクターが問いを投げかけている。</li> <li>○ 「はってん」マークで、第3学年の学習へのつながりを示している。</li> </ul>



<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「手洗い・うがいマーク」で安全、衛生上の注意を促している。</li> <li>○ 単元の導入ページに「学びのポケット」を示し、巻末に示された他教科の知識・技能を意識するように促している。</li> <li>○ 右スペースに、学習のヒントや約束事項を示す「ヒント」や「やくそく」のマークをつけ、学習のヒントや約束事項を示している。</li> <li>○ キャラクター「いぐら」が振り返りの場面で、「まんぞくハシゴ」を使って学習の自己評価を促している。</li> <li>○ 「まなびリンク」のマークで、学習に役立つ情報がWebページにあることを示している。</li> </ul>
<p>信教</p>	<p>実物がないため、調査・研究できない。</p>
<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元を「ホップ」(思いや願いをもつ、見通しをもつ)・「ステップ」(やってみる、考える、表す)・「ジャンプ」(振り返る、伝え合う)の3段階のマークで示している。</li> <li>○ 「どうすれば」マークで、学習する時の手掛かりを示したり、思考を促したりしている。</li> <li>○ 「もっとやってみたい」マークで、単元終了後の手掛かりを示している。</li> <li>○ 「きせつのおくりもの」のマークで、季節ごとの動植物を示している。</li> <li>○ 様々なキャラクター内に二次元コードが示され、コードを読み取ることで、季節の資料(四季の動植物および47都道府県の伝統行事)、交通安全、道具の使い方の資料を見ることができることを示している。</li> <li>○ 「！」マークを付け、安全・衛生面の注意を喚起している。</li> </ul>
<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの左上に、単元導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、表現活動の「ぐんぐん」の3段階のマークで単元の流れを示している。</li> <li>○ 「ぐるるっち」「のびっく」「びんびん」のキャラクターが、気付きのヒントや、安全上の留意点などを示している。</li> <li>○ 「てをあらおう」マークで衛生面について注意を促している。</li> <li>○ 「！」マークで、みんなで考える活動を促している。</li> <li>○ 「✓」マークで、学習の振り返りをしている。</li> <li>○ 「ひろがるきもち」マークで、学んだことを生活に生かすことを促している。</li> <li>○ 「がくしゅうずかん」マークで、巻末の学習図鑑の参照を促している。</li> <li>○ 他教科との関連が深いところに、関連が分かるマークが示されている。</li> <li>○ 二次元コードで、活動に関して参考となる情報がWebにあることを示している。</li> </ul>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元名の前に、単元の内容に関連するマークを掲載している。</li> <li>○ 5名の児童(挿絵)が繰り返し登場し、活動する物語性のある展開になっている。</li> <li>○ 「ぼいんとさん」「ひんとさん」「ちゅういさん」のキャラクターが、場面に応じてヒントを出したり、語りかけるように注意を喚起したりしている。</li> <li>○ 「てをあらおう」マークで、衛生面の注意を促している。</li> <li>○ 「アレルギー」マークで健康面の注意を促している。</li> <li>○ 「注意」マークで健康や安全面について注意を喚起している。</li> <li>○ 「べえじもみてね」マークで、関連した資料を参照するように喚起している。</li> <li>○ 「ふりかえる、つなげる」マークで、学習活動を振り返ったり次の活動へつなげたりするように促している。</li> <li>○ 「Dマーク」で、パソコンやインターネットの使用を促している。</li> </ul>

【生活】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定
方 法	○多様な表現方法（ICT含む）で伝え合う活動の例示

発行者	調査・研究内容
東書	<p>〈上〉「がっこうだいすき」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がっこうでみつけたことをつたえよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙に学校で見つけた物を絵で描いて模造紙に貼り付け、発表会形式で場所などを確認している。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈上〉「きれいにさいてね」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ はなのようすをつたえよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察カードを家の人に見せながら成長を伝えている。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈上〉「なつがやってきた」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ たのしかったことをつたえよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しかったことをまとめた模造紙や楽しかったときの写真をテレビに映しながら、発表会形式で伝えている。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈上〉「たのしいあきいっぱい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ あきのことをつたえよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春、夏のおすすめをまとめた模造紙を黒板に提示し、更に楽しかったことについて書いたワークシートをテレビに映して、クラスみんなに発表している。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul> <p>○ いっしょにあそぼう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋遊びのお店を作って幼児を招待し、遊び方を教えている。(写真, イラスト)</li> </ul> </p> <p>〈上〉「じぶんでできるよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ じぶんでできることをしよう、これからもつづけよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートを元に、ペアトークをしている。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈上〉「ふゆをたのしもう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふゆのことをつたえよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏、秋、冬それぞれの季節で見つけたことをまとめた模造紙を提示し、それを見ながら友達と違いを見付け合っている。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈上〉「もうすぐ2ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ しょうたいしたことをはなしあおう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生を学校へ招待した時の写真をテレビに映し、それを見ながらクラスで振り返りを行っている。(イラスト)</li> </ul> </li> <li>○ ありがとうわたしたちのきょうしつ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春、夏、秋、冬の活動の写真を提示し、それを見ながら1年間を振り返っている。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈下〉「どきどきわくわくまちたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ たんけんの計画を立てよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と探検マップを見ながら、行く場所や順番、役割を話し合っている。(イラスト)</li> </ul> </li> <li>○ 見つけたことをつたえ合おう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つけた物を交流する際に、町で見つけた物をイラストで短冊に描き、白地図</li> </ul> </li> </ul>

<p>東書</p>	<p>にイラストを置きながら説明している。イラストはクラスのみannaに見えるようにテレビに映している。(イラスト, 写真)</p> <p>〈下〉「生きもののなかよし大作せん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きもののことをつたえ合おう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生き物の観察をグループで行っている。各自伝えたいことを用紙にまとめ、最後にグループで合わせて新聞にしている。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈下〉「みんなでつかうまちのしせつ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなでつかうしせつのことを話し合おう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月にまちたんけんをした際に作成したマップを見ながら、グループで施設について話し合っている。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈下〉「もっとなかよしまちたんけん」「つながる広がるわたしの生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探検計画や探検, インタビューをして分かったことをワークシートにまとめている。</li> <li>・ 電話, ファックス, 手紙, メールで知りたいことを調べている。</li> <li>・ 調べたことをポスター, 新聞, パンフレット等にまとめて町の人に伝えている。</li> <li>・ 町探検で撮った写真をテレビに映しながら, 探検で見つけたことを発表している。</li> </ul> <p>〈下〉「あしたへジャンプ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大きくなった自分のことをしらべよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達にしてもらって嬉しかったことや友達のすごいところをカードに書いて, カード交換をすることで自分の成長やよさに気付かせている。</li> </ul> </li> <li>○ 自分のことをまとめよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の成長をすごろく, 絵本, 巻物, 新聞, ランキング等でまとめ, お世話になっている人達に自分の成長と感謝の気持ちを伝えている。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈下〉「かつどうべんりてちょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の気持ちの伝え方やインタビューで気を付けること, 情報収集の仕方, 調べたことのまとめ方, 情報機器の使い方がまとめられている。</li> </ul> <p>※ ほとんどの単元で, 考えや調べたことを伝え合う活動場面を設定していた。伝え合う活動の多くは発表会形式で, その際提示するものが, 絵, ワークシート, 観察カード, ICT (写真や観察カードの提示), 実演, 模造紙, 新聞, 地図, ホワイトボード, ポスター, パンフレット, カード, 巻物, ランキング, 絵本, すごろくであった。</p>
<p>大日本</p>	<p>〈上〉「みんななかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ともだちとなかよし <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己紹介をする活動の例として, 国語科で書いた自分の名前カードを友達と交換し合っている。(イラスト)</li> </ul> </li> <li>○ がっこうとなかよし <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校庭で見つけた物の写真を, 画用紙に貼ったものを2人で見せ合いながら交流している。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈上〉「あきとなかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いきものとなかよし <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察した虫の様子を伝える活動の例として, 体育科で虫の動きを体で表現している様子を取り上げられている。(イラスト)</li> </ul> </li> </ul>

大日本

- はなややさいとなかよし
  - ・ 秋遊びの計画を立てる際、秋見つけをしたときの写真をテレビで映し出したり、秋見つけの振り返りカードを参考にしたりしながらクラスで話し合っている。(イラスト)
  - ・ 枯葉や木の実で遊んだ際、上手くいったことをカードに書いて掲示している。(イラスト)
- おいでよあきのテーマパーク
  - ・ 落葉や木の実を使った遊びを幼児へ教えている。(写真, イラスト)

〈上〉「ふゆとなかよし」
- かぞくはなかよし
  - ・ 嬉しかったこと、誰かのために自分がしたことをハート型のカードに書いて掲示し、それを見せながら発表会形式で伝えている。(イラスト)
- もうすぐ2年生
  - ・ できるようになったこと、頑張ったことを絵で表し、それを班の友達に見せながら発表している。(イラスト)
  - ・ 新1年生を学校へ招待し、朝の準備の仕方を実演している。(写真)

〈下〉「春はっけん」
- どんな2年生になろうかな
  - ・ 2年生の目標をワークシートにまとめ、家族に話している。(イラスト)
  - ・ 校庭で見つけた春をワークシートにまとめ、校舎図に貼って、見つけたことを共有している。(写真, イラスト)
- 春の町はっけん
  - ・ 家から学校までの地図を短冊に描き、そこで見つけた事物を記録している。その記録を班で持ち寄り、模造紙にそれぞれ貼りながら、見つけた事物について交流している。(イラスト)
  - ・ 町を歩いて見付けたものを、発表形式(クイズ, テレビに写真を映す)で伝えている。(写真, イラスト)

〈下〉「生きものはっけん」
- さいばい 花ややさいの大きくなるひみつはっけん
  - ・ 育てた野菜を家に持ち帰り、食べた時の様子や考えたことについてワークシートや絵をかいてまとめ、発表している。(写真, イラスト)

〈下〉「わたしの町はっけん」
- 町にははっけんがいっぱい
  - ・ 見つけた町の好きな場所や人をカードに書き、書いたことについて班で交流している。(写真, イラスト)
  - ・ カードや学校の周りの地図を元に町たんけんのコースを班で話し合っている。(イラスト)
  - ・ 町たんけんで撮った写真をテレビにうつしながら発表している。(イラスト)
- 町の人につたえたい
  - ・ グループで発表の仕方(電子黒板, クイズ, 紙芝居, ポスター, 地図)を考えて決定し、町の人を学校に招待して見つけたことを発表している。(写真, イラスト)

〈下〉「自分はっけん」
- はっけん自分のよいところ

大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達のよいところ, できるようになったことをカードに書き, グループで交流している。(イラスト)</li> <li>○ 自分のことをもっと知りたいな <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで調べた自分の成長についてまとめ (自分発見ブック, 紙芝居, 絵本, すごろく), お世話になった方を学校へ招待して発表している。(写真, イラスト)</li> </ul> </li> <li>〈下〉「がくしゅうどうぐばこ」</li> <li>○ しらべ方つたえ方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表の仕方, 聞き方, 伝え方が一覧になっている。</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 話し合い活動のイラストが多く例示されており, イラストの近くには活動の説明が書かれている。考えを伝え合う活動では, 写真, 絵, 観察カード, 絵日記, カード, ワークシート, 模造紙, ICT (写真), クイズ, 地図, 紙芝居, ポスター, ホームページ, すごろく, ペープサート, 劇, 歌, 踊り, 巻物の例示があった。</p>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈上〉「がっこうたんけん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校を見て回って出会った先生を絵で表し, 全体で交流している。(イラスト)</li> </ul> </li> <li>〈上〉「いきものだいすき」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モルモットを飼う中で, 気付いた事や知ったことを付箋に書いて, 模造紙にまとめたり, 劇やペープサートをしたりして共有している。(写真)</li> </ul> </li> <li>〈上〉「ありがとうがいっぱい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家の人に教えて貰った家の仕事を学校で隣の席の友達に実演しながら教えている。(イラスト)</li> <li>・ できるようになったことをみんなの前で発表する際, 実演している。(イラスト)</li> </ul> </li> <li>〈上〉「せいかつかまなびかたずかん」</li> <li>○ はっぴょうする <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表方法が一覧になっている。</li> </ul> </li> <li>〈下〉「まちたんけん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の知っていることをカードに書き, 白地図に貼って説明している。(イラスト)</li> <li>・ まちたんけんで知ったことをクイズにしたり, 写真をテレビに映したりして説明している。(写真, イラスト)</li> </ul> </li> <li>〈下〉「あの人に会いたいな」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちたんけんで調べたことを班で新聞にまとめたり, 模造紙に見つけた物の絵を描いて貼ったりしている。(写真, イラスト)</li> <li>・ まとめたものを資料として, 地域の方やお家の人へ説明している。写真をテレビに映して説明している。(イラスト)</li> </ul> </li> <li>〈下〉「生きものと友だち」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育てている野菜の観察カードを元に, 野菜新聞を作成している。(写真, イラスト)</li> <li>・ 生き物の観察で発見したことを, テレビに生き物を映しながら説明している。(イラスト)</li> </ul> </li> <li>〈下〉「わたしたんけん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の素敵なところをカードに書き, それを友達に渡して伝えている。(写真, イラスト)</li> <li>・ 昔の自分について調べたことや, 自分が頑張ったことについて書いたワークシ</li> </ul> </li> </ul>

<p>学図</p>	<p>ート、友達から貰った素敵などころのカードを画用紙に貼って資料とし、クラスで発表している。(写真, イラスト)</p> <p>〈下〉「せいかつかまなびかたずかん」</p> <p>○ はっぴょうする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表方法が一覧になっている。</li> </ul> <p>※ 考えや調べたことを伝え合う活動を紹介しているページが他社と比較すると少ない。秋見つけや、冬見つけの単元では、発見したことを観察カードにまとめる例示はあるが、伝え合う例示はない。絵、観察カード(日記)、作文、ワークシート、付箋、模造紙、クイズ、劇、紙芝居、ペープサート、地図、新聞、ICT(写真)、巻物、カード、作文の例示があった。</p>
<p>教出</p>	<p>〈上〉「わくわくどきどきしょうがっこう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校を探検して出会った先生を絵に描いて、それを隣の友達に見せながら説明している。(写真)</li> <li>・ 班の友達に学校を探検して見つけた物をクイズ形式で紹介したり、見つけた物の中から自分のお気に入りを紹介したりしている。(写真)</li> </ul> <p>〈上〉「なかよくなるうね小さなともだち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼う生き物について話し合う項目を例示している。(文)</li> </ul> <p>〈上〉「かぞくにこここ大きくせん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家のことで、一人でできる事を、ペープサートや絵を用いて発表している。(写真)</li> </ul> <p>〈下〉「わくわく2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生に伝えたいことをカードに書いて、渡している。(写真)</li> </ul> <p>〈下〉「めざせ野さい作り名人」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育てる植物について話し合う項目を例示している。(文)</li> </ul> <p>〈下〉「まちが大すきたんけんたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白地図をもとに、町たんけんで行きたいおすすめの場所をクラスで話し合って計画を立てている。(イラスト)</li> <li>・ 町たんけんで見つけた物をカードに書き、白地図に置きながら発表している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「めざせ生きものはかせ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生き物の観察をして見付けたひみつを、新聞や紙芝居、観察記録にまとめたり、パズル、劇で表現したりして説明している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「えがおのひみつたんけんたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町たんけんでききたい事、見たい事、やってみたい事を班で出し合い、KJ法で模造紙に整理している。(写真, イラスト)</li> <li>・ 気づきや見つけた事を地域の人たちや友達に、紙芝居、劇、マップ、クイズ、実物投影機で映し出した写真を用いて発表している。(写真)</li> </ul> <p>〈下〉「あしたへつなぐ自分たんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の素敵などころをカードに書き、交換することで共有している。(写真)</li> </ul> <p>〈下〉「学びのポケット」</p> <p>○ まとめをはっぴょうしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表方法が一覧になって紹介されている。(イラスト)</li> </ul>

	<p>※ 考えを伝える例示は写真で示されているものが多い。絵、模造紙、観察カード(日記)、ワークシート、作文、地図、新聞、パズル、クイズ、付箋、マップ、ICT(写真)、紙芝居、カード、すごろく、ペープサート、ポスターの例示があった。</p>
信 教	<p>実物がないため、調査・研究できない。</p>
光 村	<p>〈上〉「なかよしいっぱいだいさくせん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校で出会った先生や物を絵で表し、クラスで発表している。(写真, イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「いきものとなかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生き物の観察の記録として、絵を描いたり粘土で作ったりしている。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「あきといっしょに」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児を学校に招待し、木の実や葉っぱを使った遊びを教えている。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「みんなのこにこ大きくせん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族が喜んでいる場面をカードに書き出し、それを資料として班で家族の笑顔を増やす方法を話し合っている。(写真, イラスト)</li> <li>・ 家族を笑顔にさせるために取り組んだことを、絵と文でまとめている。それを参考にしながら、班に報告している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「もうすぐみんな2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年入学予定の幼児を学校に招待し、学校で行う事を実演して見せたり、体験させたりしている。(写真, イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「ひろがるせいかつずかん」</p> <p>○ あらわす, つたえる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表方法が一覧になって紹介されている。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「まちをたんけん大はっけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の知っている事やお気に入りの場所をカードに書き、白地図に貼って説明している。(イラスト)</li> <li>・ 町たんけんで行った場所を、地図を使って説明し、そこで知ったことを発表している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「小さな友だち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダンゴムシの赤ちゃんが生まれたことを、実物投影機でテレビに映して報告している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「もっともっとまちたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前の町たんけんで作成した地図を用いて、前回と様子が変わっていることについて話し合っている。(イラスト)</li> <li>・ 町たんけんで行った場所を、地図を使って説明し、そこで知ったことを発表している。(イラスト)</li> <li>・ 町のお気に入りの場所を、ポスター、クイズ、新聞、パンフレットでまとめ、それを用いて発表している。撮った写真をテレビに映して説明している例示もある。(写真, イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「広がれわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達のよいところをカードに書いて、友達に渡している。(イラスト)</li> <li>・ できるようになったことを、絵巻物、ランキング、新聞、すごろくでまとめ、発表している。(写真, イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「ひろがるせいかつずかん」</p> <p>○ あらわす, つたえる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表方法が一覧になって紹介されている。(イラスト)</li> </ul>

	<p>※ 上巻では考えを話し合う例示は多く示されているが、活動は多様ではない。考えを伝える活動として、絵、観察カード、ワークシート、カード、新聞、ICT（写真）、ポスター、紙芝居、パンフレット、劇、歌、地図、クイズ、すごろく、ランキング、巻物が例示されている。そのうちの殆どが付録ページで紹介されている。</p>
啓林館	<p>〈上〉「いくぞ！がっこうたんけんたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つけた物を絵で表し、発表している。(写真)</li> <li>・ 見つけた物の場所へ友達を招待し、説明している。(写真)</li> </ul> <p>〈上〉「げんきにそだてわたしのはな」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察カードを見ながら、ペアで感想を伝え合っている。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「あそびばにでかけよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しかったことを絵や文で表し、それを見せながら発表している。写真をテレビに映して説明している例示もある。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「なつとなかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つけたことを絵に描き、掲示している。それを友達に見せながら、説明している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「生きもの大すき」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つけたことを絵やペーパーサート、写真（タブレット）を見せながら発表している。(写真)</li> </ul> <p>〈上〉「あきとなかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つけたものや発見したことをカードに記録し、それを模造紙に貼りながら友達と交流している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「ふゆとなかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びを実演しながら上手くできる方法を説明している。(写真、イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの学習で作成した観察カードや発見メモなどを見ながら、班でふり返りをしている。(イラスト)</li> <li>・ できるようになったことを付箋に書き出し、グルーピングした資料を見せながら友達に伝えている。(写真、イラスト)</li> <li>・ 来年入学してくる1年生に、昔の遊びを実演しながら教えている。(写真)</li> </ul> <p>〈上〉「がくしゅうずかん」</p> <p>○ まとめようつたえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめ方や発表方法が一覧になって紹介されている。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「大きくそだてわたしの野さい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育てた野菜の写真をタブレットで表示し、クイズを出している。</li> <li>・ 育てた野菜の観察カードを絵本にして、それを見せながら班で交流している。(写真、イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「とび出せ！町のたんけんたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つけたことや見つけた人、安全のことについてカードに絵を描き、地図に貼りながら説明している。(イラスト)</li> <li>・ 町で見つけたことをテレビに写真を映して見せたり、ペーパーサートやクイズをしたりして発表している。(写真、イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「みんな生きている」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発見したことをクイズやパズル、絵本に表し、説明している。クイズでは、生き物をテレビに映して行っている。(イラスト)</li> </ul>



啓林館	<p>〈下〉「もっと知りたいたんけんたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町たんけんて聞きたいことを付箋に書き、班で出し合って話し合っている。(写真)</li> <li>前の町たんけんての単元で作成した地図に、新たに発見したことをカードに書いて地図に貼り、友達と考えの交流をしている。(写真、イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「町のすてきつたえたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クイズ、新聞、劇、かるた、すごろく、パワーポイントなどで町のすてきをまとめ、地域の人に発表している。(写真、イラスト)</li> <li>テレビに町たんけんをしたときの様子を映し、振り返りを発表している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「これまでのわたしこれからのわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友達の素敵なところをカードに書き、友達にわたしている。(写真)</li> <li>自分の成長を、ペープサート、新聞、実演、紙芝居、巻物でまとめ、お世話になった人に発表している。(写真)</li> </ul> <p>〈下〉「がくしゅうずかん」</p> <p>○ まとめようつたえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ方や発表方法が一覧になって紹介されている。(イラスト)</li> </ul> <p>※ 伝え合う活動で用いられていたものは、絵、観察カード(日記)、クイズ、ワークシート、絵日記、ICT(写真、パワーポイント)、付箋、カード、ホワイトボード、劇、ペープサート、地図、新聞、説明文、カルタ、すごろく、作文、実演、紙芝居、巻物、俳句、詩、パンフレットの例示があった。</p>
日文	<p>〈上〉「がっこうをたんけんしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見つけた物事を絵に描き、模造紙に貼ってみんなに説明している。(イラスト)</li> <li>みんなが描いた絵を見ながら、友達と感想を言い合っている。(イラスト)</li> <li>見つけた物を描いたカードをテレビに映したり、実際に持ってきたりしてみんなに説明している。(写真、イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「きれいなはをさかせたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察カードを見せ合いながら感想を友達に話している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「きせつとあそぼうーはるからなつー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発見したことを絵に描き、みんなで模造紙に貼ってグルーピングしたのを見せながらみんなに説明している。(イラスト)</li> <li>発見カードを見せ合いながら2人で感想を伝え合っている。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「生きものとなかよくなるう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生き物の観察をして気付いた事を劇で表し、家の人に伝えている。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「きせつとあそぼうーあきー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見つけた木の実や木の葉で遊びを作り、秋祭りを開催している。幼児を招待して、紙に書いたルールを見せながら遊び方を説明している。(写真)</li> </ul> <p>〈上〉「じぶんでできるよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできることを付箋に書き出し、紙に貼ったのを見せながらペアやグループで伝え合っている。(イラスト)</li> </ul> <p>〈上〉「きせつとあそぼうーふゆー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聞こえた音を図にして、友達に見せながら説明している。(写真、イラスト)</li> <li>それぞれの季節で発見したことをまとめた物を横並びにし、それを見ながらク</li> </ul>

<p>日文</p>	<p>ラスで気付きや感想を伝え合っている。(イラスト)</p> <p>〈上〉「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達のよいところをカードに描いてわたしている。(イラスト)</li> <li>・ 自分を模造紙に写し描きし、そこへ成長を書いたものを見せながら友達に伝えている。(イラスト)</li> <li>・ 来年入学予定の幼児を学校に招待し、学校で行う事を実演して見せたり、体験させたりしている。(写真)</li> </ul> <p>〈下〉「町たんけん1—みんなでつかう場しょへ行こう—」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つけたことを絵と文で表し、テレビに映して発表している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「ぐんぐんそだてみんなの野さい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育てる野菜を班で話合っている。その際、意見をホワイトボードに書いて整理している。(イラスト)</li> <li>・ 野菜を育てていて、困ったことを付箋に書き、模造紙に整理して掲示している。それを見て調べた児童が解決策を付箋に書いて隣に貼っている。(イラスト)</li> <li>・ ペープサートや4コマ漫画、紙芝居で発見を伝えている。(写真)</li> </ul> <p>〈下〉「生きものはかせになろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発見したことを、クイズや劇で伝えている。観察カードをテレビに映して説明している。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「町たんけん2—グループで出かけよう—」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町の写真をタブレットやテレビで確認しながら、どこを探検するか班で計画を立てている。(イラスト)</li> <li>・ 調べたことをテレビに写真を映して見せながら説明している。(イラスト)</li> <li>・ 調べたことを、新聞でまとめたり、教えてもらったことを実演したり、写真をテレビに提示したりして地域の方へ発表している。(イラスト)</li> <li>・ 町たんけんで行った店のポスターを作って店に掲示してもらい、よさを他の人に伝えようとしている。(写真)</li> </ul> <p>〈下〉「あそび名人になろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示してある作ったおもちゃで遊んだときの写真を見ながら、友達と感想を伝え合っている。(写真)</li> <li>・ 1年生を遊び広場に招待し、楽しさを伝えている。(イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「こんなに大きくなったよ—広がれわたし—」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達のいいところをカードに書き、話しながら友達に渡している。(イラスト)</li> <li>・ 自分の成長を新聞や巻物、紙芝居、スライドショーでまとめて地域やクラスの人みんなに発表している。(写真、イラスト)</li> </ul> <p>〈下〉「ちえとわざのたからばこ」</p> <p>○ まとめ方はびょうのしかた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめ方や発表方法が一覧になって紹介されている。(写真、イラスト)</li> </ul> <p>※ 伝え合う活動で用いられていたものは、絵、模造紙、ICT（絵、写真、観察カード、スライドショー）、観察カード、ワークシート、説明書、付箋、カード、ホワイトボード、ペープサート、4コマ漫画、劇、作文、ポスター、新聞、クイズ、本、巻物、紙芝居の例示があった。</p>
-----------	--

令和元年 7月 30日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 音楽

代表者 郷原小 学校

氏名 福田 中りえ

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【音楽】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①題材の学習目標等の示し方
方 法	○題材名，学習目標の表記の仕方及び目標達成のための支援

発行者	調査・研究内容												
教出	○題材名は，短い言葉でまとめて表記されている。（見開き左上に横書きで記載） 《具体例》												
	<table border="1"> <tr><td>1年</td><td>リズムと なかよし</td></tr> <tr><td>2年</td><td>リズムや ドレミと なかよし</td></tr> <tr><td>3年</td><td>楽ふとドレミ</td></tr> <tr><td>4年</td><td>曲に合った歌い方</td></tr> <tr><td>5年</td><td>和音や低音のはたらき</td></tr> <tr><td>6年</td><td>短調のひびき</td></tr> </table>	1年	リズムと なかよし	2年	リズムや ドレミと なかよし	3年	楽ふとドレミ	4年	曲に合った歌い方	5年	和音や低音のはたらき	6年	短調のひびき
	1年	リズムと なかよし											
	2年	リズムや ドレミと なかよし											
	3年	楽ふとドレミ											
	4年	曲に合った歌い方											
	5年	和音や低音のはたらき											
	6年	短調のひびき											
	○学習目標の表記の仕方は〔共通事項〕に着目させ，「～しよう。」のように呼びかける形で横書きで表記されている。（〔共通事項〕の文言には色が付いている。）  《具体例》												
	<table border="1"> <tr><td>1年</td><td>たんとうんの リズムで あそぼう (p16)</td></tr> <tr><td>2年</td><td>ドレミで 歌ったり えんそうしたり しよう (p22)</td></tr> <tr><td>3年</td><td>ドレミで歌ったりえんそうしたりしよう (p8)</td></tr> <tr><td>4年</td><td>ひびきを大切にして歌い方をくふうしよう (p28)</td></tr> <tr><td>5年</td><td>低音のはたらきを感じ取って演そうしよう (p12)</td></tr> <tr><td>6年</td><td>せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう (p12)</td></tr> </table>	1年	たんとうんの リズムで あそぼう (p16)	2年	ドレミで 歌ったり えんそうしたり しよう (p22)	3年	ドレミで歌ったりえんそうしたりしよう (p8)	4年	ひびきを大切にして歌い方をくふうしよう (p28)	5年	低音のはたらきを感じ取って演そうしよう (p12)	6年	せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう (p12)
1年	たんとうんの リズムで あそぼう (p16)												
2年	ドレミで 歌ったり えんそうしたり しよう (p22)												
3年	ドレミで歌ったりえんそうしたりしよう (p8)												
4年	ひびきを大切にして歌い方をくふうしよう (p28)												
5年	低音のはたらきを感じ取って演そうしよう (p12)												
6年	せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう (p12)												
○学習目標達成のための支援 ・学習活動の見通しを示す文として，見開き左側に縦書きで記載している。 《具体例》													
<table border="1"> <tr><td>1年</td><td>はくに のって，いろいろな リズムを うてるかな。(p16)</td></tr> <tr><td>2年</td><td>リズムや ドレミと なかよく できるかな。(p14)</td></tr> <tr><td>3年</td><td>楽ふやドレミとなかよくなれるかな。(p8)</td></tr> <tr><td>4年</td><td>せんりつの特ちょうを生かして歌えるかな。(p28)</td></tr> <tr><td>5年</td><td>和音や低音のはたらきを感じ取って演そうできるかな。(p12)</td></tr> <tr><td>6年</td><td>短調と長調のひびきのちがいが感じ取れるかな。(p12)</td></tr> </table>	1年	はくに のって，いろいろな リズムを うてるかな。(p16)	2年	リズムや ドレミと なかよく できるかな。(p14)	3年	楽ふやドレミとなかよくなれるかな。(p8)	4年	せんりつの特ちょうを生かして歌えるかな。(p28)	5年	和音や低音のはたらきを感じ取って演そうできるかな。(p12)	6年	短調と長調のひびきのちがいが感じ取れるかな。(p12)	
1年	はくに のって，いろいろな リズムを うてるかな。(p16)												
2年	リズムや ドレミと なかよく できるかな。(p14)												
3年	楽ふやドレミとなかよくなれるかな。(p8)												
4年	せんりつの特ちょうを生かして歌えるかな。(p28)												
5年	和音や低音のはたらきを感じ取って演そうできるかな。(p12)												
6年	短調と長調のひびきのちがいが感じ取れるかな。(p12)												
・児童の気付きを引き出す支援として示されているものもある。（「まなびナビ（まなびかたをしろう）」のマーク） 《具体例》													
<table border="1"> <tr><td>1年</td><td>「まず，せんせいがつはくにあわせて，たんたんたんうんのリズムをくりかえしとう。」『ぶんぶんぶん』のうたにあわせて，てびょうしやてあわせをしよう。」(p17)</td></tr> <tr><td>2年</td><td>「みんなの音がそろうように，1だんずつのフレーズをていねいにえんそうしよう。」(p22)</td></tr> </table>	1年	「まず，せんせいがつはくにあわせて，たんたんたんうんのリズムをくりかえしとう。」『ぶんぶんぶん』のうたにあわせて，てびょうしやてあわせをしよう。」(p17)	2年	「みんなの音がそろうように，1だんずつのフレーズをていねいにえんそうしよう。」(p22)									
1年	「まず，せんせいがつはくにあわせて，たんたんたんうんのリズムをくりかえしとう。」『ぶんぶんぶん』のうたにあわせて，てびょうしやてあわせをしよう。」(p17)												
2年	「みんなの音がそろうように，1だんずつのフレーズをていねいにえんそうしよう。」(p22)												

3年	「イウエは、楽ふでドレミをたしかめながら歌おう。」 「ウでは、どちらのパートが主なせんりつを歌っているかな。きいている人にわかるように歌いたいね。」(p11)
4年	「学び合う音楽—みんなで表げんを深めよう」として、せんりつの特ちょうを生かして歌うために、①どんな歩き方が合うか歩きながら歌う。②せんりつの変化するところをさがす。③スタッカートの歌い方を考える。④同じリズムで音が高くなっている部分の効果について考える。①～④の活動を通して、せんりつの特ちょうに合った声や歌い方を見つけて歌えるようにしている。(p29)
5年	「演そうして比べてみて、気がついたことを話し合おう。①せんりつ(リコーダーや歌)と低音②せんりつだけ」(p12)
6年	「せん律やひびきの感じが変わるところを見つけよう。」(p12)

教芸	○題材名は、活動で表記されている。(見開き左側に縦書きで記載) 《具体例》												
	<table border="1"> <tr><td>1年</td><td>うたって おどって なかよく なるう</td></tr> <tr><td>2年</td><td>ドレミで あそぼう</td></tr> <tr><td>3年</td><td>音楽で心をつなげよう</td></tr> <tr><td>4年</td><td>せんりつのとくちょうを感じ取ろう</td></tr> <tr><td>5年</td><td>歌声をひびかせて心をつなげよう</td></tr> <tr><td>6年</td><td>歌声をひびかせて心をつなげよう</td></tr> </table>	1年	うたって おどって なかよく なるう	2年	ドレミで あそぼう	3年	音楽で心をつなげよう	4年	せんりつのとくちょうを感じ取ろう	5年	歌声をひびかせて心をつなげよう	6年	歌声をひびかせて心をつなげよう
	1年	うたって おどって なかよく なるう											
	2年	ドレミで あそぼう											
	3年	音楽で心をつなげよう											
	4年	せんりつのとくちょうを感じ取ろう											
	5年	歌声をひびかせて心をつなげよう											
	6年	歌声をひびかせて心をつなげよう											
	○学習目標の表記の仕方は、「～しましょう。」のように呼びかける形で横書きで表記されている。(黒か白の太字で記載されている。) 《具体例》												
	<table border="1"> <tr><td>1年</td><td>みんなで いっしょに うたって、ともだちを つくりましょう。(p6)</td></tr> <tr><td>2年</td><td>音の たかさに 気をつけながら、うたや けんばんハーモニカで おいかけっこを しましょう。(p24)</td></tr> <tr><td>3年</td><td>友だちへの思いをこめて歌いましょう。(p6)</td></tr> <tr><td>4年</td><td>せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。(p34)</td></tr> <tr><td>5年</td><td>曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。(p10)</td></tr> <tr><td>6年</td><td>明るくひびきのある声で歌いましょう。(p10)</td></tr> </table>	1年	みんなで いっしょに うたって、ともだちを つくりましょう。(p6)	2年	音の たかさに 気をつけながら、うたや けんばんハーモニカで おいかけっこを しましょう。(p24)	3年	友だちへの思いをこめて歌いましょう。(p6)	4年	せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。(p34)	5年	曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。(p10)	6年	明るくひびきのある声で歌いましょう。(p10)
1年	みんなで いっしょに うたって、ともだちを つくりましょう。(p6)												
2年	音の たかさに 気をつけながら、うたや けんばんハーモニカで おいかけっこを しましょう。(p24)												
3年	友だちへの思いをこめて歌いましょう。(p6)												
4年	せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。(p34)												
5年	曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。(p10)												
6年	明るくひびきのある声で歌いましょう。(p10)												
○学習目標達成のための支援 ・学習活動の見通しを示す文として、見開き左側に縦書きで記載している。 《具体例》													
<table border="1"> <tr><td>1年</td><td>ともだちと いっしょに こえを あわせて うたったり あそんだり することが できるかな。(p6)</td></tr> <tr><td>2年</td><td>音の たかさに 気をつけながら、ドレミで うたったり けんばんハーモニカを ふいたり することが できるかな。(p20)</td></tr> <tr><td>3年</td><td>友だちと声を合わせて歌ったり、拍にのってリズムを打ったりすることができるかな。(p6)</td></tr> <tr><td>4年</td><td>せんりつのとくちょうを感じ取り、それを生かしてえんそうしたり、きいたりすることができるかな。(p32)</td></tr> </table>	1年	ともだちと いっしょに こえを あわせて うたったり あそんだり することが できるかな。(p6)	2年	音の たかさに 気をつけながら、ドレミで うたったり けんばんハーモニカを ふいたり することが できるかな。(p20)	3年	友だちと声を合わせて歌ったり、拍にのってリズムを打ったりすることができるかな。(p6)	4年	せんりつのとくちょうを感じ取り、それを生かしてえんそうしたり、きいたりすることができるかな。(p32)					
1年	ともだちと いっしょに こえを あわせて うたったり あそんだり することが できるかな。(p6)												
2年	音の たかさに 気をつけながら、ドレミで うたったり けんばんハーモニカを ふいたり することが できるかな。(p20)												
3年	友だちと声を合わせて歌ったり、拍にのってリズムを打ったりすることができるかな。(p6)												
4年	せんりつのとくちょうを感じ取り、それを生かしてえんそうしたり、きいたりすることができるかな。(p32)												

5年	曲の感じや、歌詞にこめられた気持ちを感じ取って、歌声に気を付けながら歌うことができるかな。(p10)
6年	曲想や、歌詞にこめられた気持ちを感じ取って、歌声に気を付けながら歌うことができるかな。(p10)

・児童の気付きを引き出す支援として示されているものもある。(キャラクターの吹き出し)

《具体例》

1年	「どんなうたがかくれているかな。」 「うたをしらないともだちがいたらおしえてあげよう。」(p6,7)
2年	「せんりつのかさなりかたに気をつけておいかけっこをしよう。」(p25)
3年	「2つのリズムを組み合わせて長くしてもいいね。」 「じゅぎょうのはじめに少しずつやろう。」(p7)
4年	「①の tu(t) は、『トゥッ』と言うようにふくといいよ。」 「イの2つのせんりつのはびき合いを感じてえんそうしよう。」(p33)
5年	「タータのリズムのところの音の上がり下がりはどうなっているかな。」 「曲の山はどこにあるかな。」(p15)
6年	「『明日という大空』は、四分音符を1分間に116～126回打つ速さで歌えばいいんだね。」(p11)

【音楽】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
方 法	○歌唱教材の扱い

発行者	調査・研究内容
教出	<p>○巻頭の歌</p> <p>2年 朝のリズム</p> <p>3年 小さな世界</p> <p>4年 TODAY</p> <p>5年 夢色シンフォニー</p> <p>6年 つばさをください</p> <p>○巻末の歌</p> <p>「おんがくランド」で取り上げられているもののうち、歌唱曲</p> <p>1年 18曲</p> <p>2年 11曲</p> <p>3年 7曲</p> <p>4年 8曲</p> <p>5年 7曲</p> <p>6年 13曲</p> <p>○演奏の形態</p> <p>1年 斉唱のみ</p> <p>2年 りんしょうであそぼう (かえるのがっしょう) せんりつをかさねて歌ってみよう (ウンパッパ)</p> <p>3年 部分二部合唱 (この山光る) (ありがとうの花) (音楽のおくりもの) (まっかな秋)</p> <p>4年 部分二部合唱 (エーデルワイス) (ゆかいに歩けば) (グッデーグッバイ) (半月) (まきばのこうし) (飛べよツバメ) (札幌の空) (音楽のおくりもの) (さんぽ) 二部合唱 (プバポ) (もみじ)</p> <p>5年 部分二部合唱 (ハロー・シャイニング ブルー) (冬げしき) (スキーの歌) 二部合唱 (夢色シンフォニー) (君をのせて) (Auld Lang Syne) (ゆき) (大切なもの) (音楽のおくりもの) (さんぽ) 三部合唱 (こげよマイケル)</p> <p>6年 部分二部合唱 (語りあおう) 二部合唱 (ぼくらの日々) (明日を信じて) (ふるさと) (Take Me Home , Country Roads) (さようなら) (U&amp;I) (すてきな友達) (とびらを開いて) (未来への賛歌) (あおげばとうとし) (花は咲く) (野に咲く花のように) (音楽のおくりもの) (さんぽ) 三部合唱 (ロック マイ ソウル) (宝島)</p>

○発声のポイントの示し方については、「歌声」等のコーナーを第3学年から設け、具体的に説明している。

3年 歌声 気持ちよく声を出そう (p43)

遠くによびかけるように歌って、気持ちよく声を出そう。

友だちの声をききながら歌おう。

体の力をぬこう

のどのおくを開こう

4年 歌声 おなかを使って歌おう (p29)

かたを楽にして、おなかに手を当てながら歌ってみよう。

「ゆかいに歩けば」の前半の部分をピ、ポ、マなどの言葉で、歌ってみよう。

5年 変声期 (p6) みなさんが成長するにつれて、声が出しづらくなる時期があります。これを変声期といいます。声がかすれたり、急に出なくなったりしたら、無理をせずに歌える高さのところを歌いましょう。変声期になったかなと感じたら、声を大切にしながら、今までと同じように楽しんで歌ってくださいね。(花のおくりもの)

スキルアップ 歌声とリズムのトレーニング

4年 歌声 言葉をはっきりと歌おう (p6)

口をしっかりと動かして、きく人に言葉が伝わるようにはっきりと歌おう。

いろいろな速さで歌ってみよう。

慣れてきたら、輪唱してみよう。

5年 きく人に伝わる演そうのために (p7)

強弱や速度、歌い方や音の出し方は、みんなが気持ちをそろえて同じように演そうすると、きく人に伝わるよ。出だしもそろえて演そうしよう。

6年 歌声「バナハ」を、「ラ」「ル」「ナ」「パ」などの言葉で、歌ってみよう。

(p6)

長い音ぶは、きれいに声をひびかせよう。短い音ぶも一つずつはっきりと歌おう。

慣れてきたら輪唱してみよう。

学び合う音楽—みんなで表現を深めよう

「歩きながら歌ってみよう」「せんりつの感じが変わるところをさがしてみよう」といった視点を絞った学習活動を提示し、表現のくふうを児童が見つけて歌えるように仕向けている。

3年 「ふじ山」(p43)

4年 「ゆかいに歩けば」(p29)

学び合う音楽

表現をどのようにくふうするか、みんなで考えるようになっている。

5年 「こいのぼり」(p11)

「ハロー・シャイニングブルー」(p22, 23)

6年 「おぼろ月夜」(p11)

「ぼくらの日々」(p16, 17)

「われは海の子」(p23)

教出



教芸	<p>○巻頭の歌</p> <p>    こころをつなぐ歌声</p> <p>    5年 Believe</p> <p>    6年 つばさをください</p> <p>○巻末の歌</p> <p>「みんなでたのしく」で取り上げられている楽曲のうち、歌唱曲</p> <p>    1年 9曲</p> <p>    2年 7曲</p> <p>    3年 6曲</p> <p>    4年 7曲</p> <p>    5年 5曲</p> <p>    6年 6曲</p> <p>○演奏の形態</p> <p>    1年 斉唱のみ</p> <p>    2年 おいかけっこ (かえるのがっしょう)</p> <p>        かさねてうたう (かねがなる)</p> <p>        おいかけっこ (どこかで)</p> <p>    3年 部分二部合唱 (歌おう声高く)</p> <p>        二部合唱 (ゴーゴーゴー)</p> <p>    4年 部分二部合唱 (花束をあなたに) (いろんな木の実) (ゆかいに歩けば)</p> <p>        (パレードホッホー) (いつだって) (Sing a rainbow)</p> <p>        二部合唱 (もみじ)</p> <p>    5年 部分二部合唱 (すてきな一歩) (スキーの歌)</p> <p>        二部合唱 (Believe) (いつでもあの海は) (夢の世界を)</p> <p>        (冬げしき) (大空がむかえる朝) (ほたるの光) (マイバラード)</p> <p>        三部合唱 (こげよマイケル)</p> <p>    6年 二部合唱 (つばさをください) (明日という大空) (おぼろ月夜)</p> <p>        (星空はいつも) (思い出のメロディー) (きっと届ける) (さよなら友よ)</p> <p>        (あおげばとうとし) (Wish ~夢を信じて) (旅立ちの日に)</p> <p>        (あすという日が) (いのちの歌)</p> <p>        三部合唱 (星の世界) (歌よありがとう) (ふるさと)</p> <p>○発声のポイントの示し方については、「うたごえ」のコーナーを全学年に設け、ワンポイントとして説明している。</p> <p>    1年 うたごえ くちのなかをよくあけて、ひとつひとつのことばをはっきりうた         いましょう。(みんなであそぼう) (p19)</p> <p>    2年 うたごえ うたうときは…</p> <p>        せなかをのぼしたまま… → かたを上げ…</p> <p>        →かただけをゆっくりと下ろして…</p> <p>        →ほほえむかんじでうたいましょう。(ドレミのうた) (p21)</p> <p>    3年 歌声 声をおでこのあたりにひびかせて、息を遠くのほうへとどかせるよ         うなかんじで歌いましょう。(あの雲のように) (p36)</p>
----	--

4年 歌声① あくびをするようなつもりで空気をすつてみると、口のおくでつめたく感じる場所があります。そこをよく開けて、歌いましょう。  
(いいことありそう) (p11)

歌声② スタッカートのところは、わらったときのようなおなかの動きを感じて、軽くはずむように歌いましょう。また、言葉があいまいにならないように、はっきりと発音して歌いましょう。(ゆかいに歩けば)  
(p35)

5年 歌声① 低い音を歌うときも、声が上のほうに向かっていくようなイメージをもって、明るい声で歌いましょう。(すてきな一歩) (p11)

歌声② 人によってちがいはありますが、小学校の高学年ごろから声変わりが始まり、やがて大人の声へと移っていきます。

声の出しにくいところは、無理のない歌い方を工夫しましょう。  
(こげよマイケル) (p36)

歌声③ 「ほほ」や「かわ」のように、同じ母音が続くところでは、その前の子音を意識して発音するようにすると、言葉がはっきりと伝わります。(夢の世界を) (p38)

6年 歌声① 鼻の付け根から目の間の辺りにひびきを感じて歌いましょう。  
(明日という大空) (p11)

歌声② 声変わりが始まって高い声を出しにくいと感じる人は、無理のない歌い方を工夫しましょう。(星の世界) (p29)

【音楽】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
方 法	○リコーダーの扱い

発行者	調査・研究内容
教出	<p>毎時間少しずつ取り組む中で、音楽表現のために必要な技能の定着を図ることができるよう教材や活動が設定されている。</p> <p>○リコーダー学習の導入（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く（5曲）→リコーダーの種類を知る（5種類）→楽器の構え方や持ち方を知る→「シ」の音をふく</li> </ul> <p>○リコーダーの紹介を写真と言葉でしている。（p16, 17）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソプラニーノ, ソプラノ, アルト, テノール, バス</li> <li>・ふき口以外にも、頭部かん, ウインドウ（まど）, 中部かん, 足部かん, うらあな等の名称を示している。</li> </ul> <p>○演奏の仕方を写真と言葉で説明している。（p18, 19）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏の仕方を写真で多方面から撮り、示している。</li> <li>・ふくときの息を「大きなシャボン玉をつくる時のように、息をまっすぐに出そう。」とし、絵でその様子を示している。</li> <li>・タンギングについて言葉で説明している。また、視覚で捉えやすいようタンギングの長さを帯で表している。（p19）</li> <li>・第3学年の導入で、タンギングについて「トゥ、ルと発音するときのように」と説明している。また、第4学年で高い音を吹くときには「ティ」と発音するように説明している。</li> <li>・ド（高い）レ（高い）では、構えた時の子どもの目線や横から見た写真を掲載し、楽器の支え方・指使いについて説明している。（p30）</li> <li>・第4学年でサミングの二つの方法を写真と言葉で説明している。（p26）</li> <li>・「あなをふさぐときは、すきまができないように気をつけよう。」と言葉で説明し、写真で示している。（p18）</li> <li>・リコーダーのあなのふさぎ方が、各音ごとに「右手」、「左手」と「ふさいだ部分のあなの塗りつぶし」で示している。</li> </ul> <p>○ウサギのキャラクターの吹き出しで「楽きは大切にあつかおう。」と呼びかけている。（p16）</p> <p>○巻末でド（低い）からレ（高い）のリコーダーの指使いを示し、その巻末の折り込みを開くと、どのページの曲を学習していても、リコーダーの指づかいの確認ができるようになっている。</p> <p>○発達段階を考慮したステップが踏まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年 シ→ラ→ソ→ド（高い）→レ（高い）→ファ→ミ→レ（低い）（p18～23, 30, 31, 52, 53）</li> <li>・第4学年 ミ（高い）→ド（低い）→#ソ（p26, p45, p51）</li> </ul>

リコーダーの演奏に興味・関心をもち、楽器の手入れをしながら、確実に演奏技術を習得できるように教材が配置されている。

○リコーダー学習の導入（第3学年）

- ・リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く（2曲）→リコーダーの種類を知る（4種類）→楽器の構え方や持ち方・楽器の手入れの仕方を知る→「シ」の音をふく

○リコーダーの紹介を写真と言葉でしている。

- ・ソプラノ、アルト、テノール、グレートバス
- ・ふき口以外にも、頭部管（ヘッド ピース）、中部管（ミドルピース）、足部管（フット ピース）、まど（ウィンドウ）、リップ、うらあな（サム ホール）、音あな（トーン ホール）、ベル等の名称を示している。

○演奏の仕方を写真と言葉で説明している。（P20～23）

- ・演奏の仕方を写真で多方面から撮り、示している。（p21）
- ・「ささえ方」「音あなのとじ方」「音の出し方」「息づかい」と小見出しを付け説明している。
- ・「ささえ方」では、座ったときの姿勢も写真で示されている。（p20）
- ・「音あなのとじ方」では、すきまができないようにするために、「指を自然に曲げ、指のはらでとじましょう」と、「指のはら」を写真で示しながら、説明している。
- ・「音の出し方」では、タンギングについて図と言葉で説明している。また、視覚で捉えやすいようタンギングの長さを帯で表している。（p22, 23）
- ・第3学年の導入で、タンギングを「ないしょ話をするときのように『tu\_\_』と言いながら」息を出したり止めたりする様子について段階を踏んで絵と言葉で説明している。（p22）第4学年では、スタックカートで吹くときには「tu(t)」高い音を吹くときには「ti」（ティ）と発音するように説明している。（p43）
- ・レ（高い）では、構えた時の子どもの目線や横から見た写真を掲載し、楽器の支え方・指使いについて説明している。（p27）
- ・第4学年でサミングの二つの方法を写真と言葉で説明している。（p43）
- ・「息づかい」について、ふくときの息を「大きなしゃぼん玉をつくるようなつもりで、やさしく息を出してふきましょう。」とし、絵でその様子を示している。（p22）
- ・リコーダーのあなのとじ方が、各音ごとに「右手」、「左手」と「とじた部分のあなの塗りつぶし」と番号で示している。

○「楽器を大切にしよう」というコーナーで、楽器を大切に扱うために、リコーダーの手入れの仕方について絵と言葉で説明している（p21）

○発達段階を考慮したステップが踏まれている。

- ・第3学年 シ→ラ→ソ→ド（高い）→レ（高い）→ファ→ミ→レ→ド（低い）  
（p23～27, 44, 45, 52, 53）
- 第4学年 ミ（高い）→ファ（高い）→ソ（高い）（p43）

【音楽】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方 法	○音楽づくりに関する学習過程等の示し方

発行者	調査・研究内容
教出	<p>音楽づくりの学習では、即興的に表現することを通して児童が音楽づくりの様々な発想を得ることや、「音遊び」や「即興的な表現」と「音を音楽へ構成すること」とのつながりが重視されている。音遊びや簡単な旋律づくり等の活動が、基礎的な表現の技能の育成につながるように配慮されている。高学年に関しては、基礎的な表現を習得した上での発展的な音楽づくりになっている。</p> <p>《具体例》</p> <p><b>第1学年「リズムとなかよし」</b> (p24, 25)</p> <p>○音楽づくりに関する学習過程の示し方</p> <p>学習目標「ことばの リズムで あそぼう」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「わくわく キッチン」で、□のところのことばのリズムをかえてうってみよう。</li> <li>2 おとやようすなどをあらわす、いろいろなことばをもとに、リズムをつくってみよう。</li> <li>3 1や2でつくったリズムをがっきでうってみよう。どのがっきでうってみたいかな。</li> <li>4 みんなでリズムをつなげてあそぼう。</li> </ol> <p>○音の様子を図形で表したカードの示し方：3種類のカードを示している。</p> <p>○使用する楽器の例：タンブリン、すず、カスタネット</p> <p>○音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫：児童の吹き出しの中で、次のように示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムをこまかくしてみたよ。</li> <li>・とん とん とん ◇ を カスタネットでうちたいな。</li> <li>・ざあ ざあ ざあ ◇ を タンブリンでうつとびったりかな。</li> </ul> <p><b>第2学年「みんなで 合わせて」</b> (p56, 57)</p> <p>○音楽づくりに関する学習過程の示し方</p> <p>学習目標「みんなの 音楽時計を つくろう」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ㊸～㊾の入るじゅん番をきめよう。</li> <li>2 ぜん体の長さや、くりかえす回数をきめよう。</li> <li>3 音の強さをかえたり、お休みするところをつくったりしよう。</li> <li>4 おわり方を考えよう。</li> </ol> <p>○音の様子を図形で表したカードの示し方：演奏の例をブロックで示している。</p> <p>○使用する楽器の例：木きん、てっきん、すず、トライアングル</p> <p>○音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫：吹き出しの中で、次のように示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マレットのかたさのちがいで音が変わるよ。</li> </ul> <p><b>第3学年「みんなで 合わせて」</b> (p58, 59)</p> <p>○音楽づくりに関する学習過程の示し方</p> <p>学習目標「音のひびきや組み合わせを楽しもう」</p>

- 1 楽きをえらぼう。
- 2 楽きの音をたしかめよう。
- 3 カードをえらんで、音で表してみよう。
- 4 カードをつなげてえんそうしよう。

○音の様子を図形で表したカードの示し方：6種類のカードを示している。

○使用する楽器の例：木製3種類、皮製3種類、金属製3種類

○音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫：

児童の吹き出しの中で、次のように示している。

- ・カスタネットで音をながくひびかせるのはむずかしいね。
- ・トライアングルで短く音を切るには、どうしたらいいかな。
- ・音の強さをかえることはできるかな。
- ・打つところやばちによって、音色が変わるね。

#### 第4学年「わたしたちの表げん」 (p56, 57)

○音楽づくりに関する学習過程の示し方

学習目標「役わりをもとに音楽をつくろう」

つくり方1 それぞれがきき合いながら、自由にえんそうして合わせる。

つくり方2 下のように、進め方を決めてえんそうする。

○音の様子を図形で表した例の示し方：4種類の例を示している。

○使用する役割の例：お話し役2種類、ささえ役、かざり役

○音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫：

児童の吹き出しの中で、次のように示している。

- ・弱くふいてまねしてみたよ。
- ・友達の終わりの音から始めてみたよ。
- ・強弱や速度もくふうしよう。

#### 第5学年「わたしたちの表現」 (p56, 57)

○音楽づくりに関する学習過程の示し方

学習目標「ずれの音楽を楽しもう」

1 二つの組になり、いろいろなずらし方（追いかけ方）を試してみよう。

2 ずらし方をくふうして、「ずれの音楽」をつくろう。

○音の様子を音符で表した例の示し方：1種類の例を示している。

○使用するずれの例：4拍ずらし、2拍ずらし、1拍ずらし

○音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫：

児童の吹き出しの中で、次のように示している。

- ・始めと終わりはいっしょに打とうよ。
- ・始めも終わりも2回いっしょに打とう。強さはどうしようかな。
- ・中は4拍ずらしから始めたいな。
- ・ずらすと音がかみ合わさって、おもしろいよね。

#### 第6学年「音楽に思いをこめて」 (p46, 47)

○音楽づくりに関する学習過程の示し方

学習目標「役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう」

一つの楽器を4人で使って演奏しよう。

〈つくり方の例〉

始まり…①がアの部分の演奏を始め、しばらくしたら②③④のパートも加わる。

つなぎ…①がイの部分の音に変わったら、②③④もイの部分に移っていく。



児童の吹き出しの中で、次のように示している。

- ・イ→アのじゅんばんにならそうかな。
- ・エは、タンブリンをふって音をのばしてみたいな。
- ・よびかけるやくとこたえるやくをこうたいしたり、えらんだリズムのじゅんばんをかえたりしてみよう。

**第3学年「いろいろな音のひびきをかんじとろう」** (p56, 57)

○音楽づくりに関する学習過程の示し方

学習目標「音のとくちようを生かして音楽をつくりましょう。」

- 1 3～4人の組になって、ひびきの長さや音色のちがいを生かして、「まほうの音楽のもと」をつくりましょう。
- 2 「まほうの音楽のもと」の組み合わせ方や重ね方をくふうしながら、くりかえしを使って、「まほうの音楽」をつくりましょう。
- 3 つくった「まほうの音楽」を入れて、「おかしなすきなまほう使い」を歌いましょう。

○音の様子を図形で表したカードの示し方：4種類のカードを示している。

○使用する楽器の例：てっきん、シンバル、トライアングル、小だいこなど7種類

○音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫：

児童の吹き出しの中で、次のように示している。

- ・どんな音色にしたらまほうのかんじに合うかな。
- ・まほうがせいこうするかんじを出すには、強さをどうすればいいかな。
- ・くりかえして鳴らして、まほうの力が強くなるかんじにしようかな。
- ・トライアングルを重ねて、キラキラ光るかんじを出したいな。
- ・さいごに小だいこを重ねて、まほうがかかったかんじを出したいな。

**第4学年「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」** (p48, 49)

○音楽づくりに関する学習過程の示し方

学習目標「音のとくちようを生かして音楽をつくりましょう。」

- 1 いろいろな楽器を使って、鳴らし方をくふうしながら、ア～エのカードの図形を音で表しましょう。
- 2 3人の組になり、音のひびき合いをたしかめながら、組み合わせる楽器をえらびましょう。
- 3 下の例を参考にして、ア～エの4種類のカードをすべて使って、音楽をつくりましょう。

○音の様子を図形で表したカードの示し方：4種類のカードを示している。

○使用する楽器の例：皮製4種類、金属製3種類、木製3種類

○音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫：

児童の吹き出しの中で、次のように示している。

- ・ ・と●では、打つ位置を変えて、音の高さをくふうしてみようかな。
- ・ 細かく打ちながらだんだん強くしていこうかな。それとも、ふりながらだんだん強くしていこうかな。
- ・ 金属でできている楽器を組み合わせしてみました。
- ・ 皮がはってある楽器と木でできている楽器を組み合わせしてみました。
- ・ それぞれの楽器の音がよくきこえるように、1人ずつ順に鳴らしました。
- ・ クラベスが目立つように、他の楽器とちがうカードをえらびました。

**第5学年「いろいろな音色を感じ取ろう」** (p30～33)

○音楽づくりに関する学習過程の示し方



学習目標「打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。」

- 1 楽器の材質や音のひびきに気を付けながら、いろいろな楽器を鳴らして音の特徴を確かめましょう。
- 2 音の特徴に気を付けながら、グループごとにアンサンブルに使う楽器を選びましょう。
- 3 選んだ楽器を使って下の①～③のリズムを重ねて演奏し、ひびきの組み合わせを確かめましょう。
- 4 選んだ楽器でリズム1～リズム6を演奏し、好きなリズムを1つ選びましょう。
- 5 選んだリズムを3人で重ねて演奏し、重なり合うひびきやリズムのおもしろさを確かめましょう。
- 6 下の例を参考にしながら、選んだ楽器とリズムを使い、音楽の仕組みを生かして、自分たちのリズムアンサンブルをつくりましょう。

○音の様子を音符と図で表したパターンの示し方：3種類のリズムパターンを示している。

○使用する楽器の例：15種類

○音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫：児童の吹き出しの中で、次のように示している。

- ・楽器をふやしていき、だんだん集まってくるイメージにしました。
- ・友達どうしでおしゃべりをするようなイメージにしました。
- ・音色の組み合わせが楽しめるように、5回目と6回目の組み合わせをもう一度くり返してみました。

第6学年「いろいろな音色を感じ取ろう」 (p22, 23)

○音楽づくりに関する学習過程の示し方

学習目標「声のひびきが重なるおもしろさを生かして、音楽をつくりましょう。」

- 1 下のワークシートの①と②のパートに(四分音符)、(四分休符)、(八分音符+八分音符)、(八分休符+八分音符)、のリズムを使って、8拍のリズムをつくりましょう。
- 2 ①②③のパートの言葉を考えて、ワークシートに書きましょう。
- 3 全体のまとまりを考えると、パートの重ね方や終わりの部分を工夫し、リズムアンサンブルをつくりましょう。

○音の様子を音符と言葉で表した図の示し方：3種類の図を示している。

○使用する言葉の例：6種類

○音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫：児童の吹き出しの中で、次のように示している。

- ・「ツツツ」の「タ」だけ、声の高さを変えようかな。
- ・「タン」は、するどく言いたいな。
- ・「ドゥン」は、どんな声の高さにしようかな。
- ・(十六分音符+十六分音符+十六分音符+十六分音符)を「テケテケ」という言葉にしてみようかな。
- ・終わりの部分は、全員で③のリズムを低めの声で強く言って終わろうかな。

【音楽】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
方 法	○音や音楽と生活との関わりについての記述例

発行者	調査・研究内容
教出	<p>音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載し、興味関心を持たせる工夫がされている。我が国や世界の多様な音楽を楽しむことができるような教材を設定することにより、児童が音楽と生活との関わりに関心を持たせるような工夫がされている。</p> <p>第1学年 おとのスケッチ：「ことばの リズムで あそぼう」(p24, 25)</p> <p>第2学年 音のスケッチ：「どんな 音が きこえるかな」(p32, 33) 題材：「おまつりの 音楽」(p42~45)</p> <p>第3学年 音のスケッチ：「いろいろな声で表げんして遊ぼう」(p26, 27) 題材：「遊び歌めぐり」(p36~39)</p> <p>第4学年 巻頭：「あなたの声は世界にただひとつ」(新妻聖子) 題材：「音楽今昔」(p38~47) 歌唱教材との関わり：「わたしたちの生活と音楽」(p55)</p> <p>第5学年 巻頭：「舞台から未来へ」(野村萬斎) 題材：「音楽の旅」(p34~41)</p> <p>第6学年 巻頭：「ひびきに心をのせて」(辻井伸行) コーナー：「音楽にできること」(p40, 41) 歌唱教材との関わり：「海を思う心」(p23)</p>
教芸	<p>音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載し、興味関心を持たせる工夫がされている。我が国の伝統的な音楽文化との触れ合いを促す工夫や、身の回りの音や音楽に対する意識を高めることができるような工夫がされている。</p> <p>第1学年 題材：「みの まわりの おとに みみを すまそう」(p30, 31)</p> <p>第2学年 題材：「音楽で みんなと つながろう」(p6~13) 題材：「せいかつの 中に ある 音を 楽しもう」(p28~31)</p> <p>第3学年 鑑賞教材との関わり：神田囃子ほぞん会の方のお話 (p60~62)</p> <p>第4学年 歌唱及び鑑賞教材との関わり：「越中五箇山こきりこうたほぞん会の岩崎喜平さんにインタビュー」(p29)</p> <p>第5学年 巻頭：「表現するときに大切なこと」(浅田真央) 鑑賞教材との関わり：「仙台フィルハーモニー管弦楽団バイオリン奏者神谷未穂さんのお話」(p22, 23)</p> <p>第6学年 巻頭：「時代をこえて受けつぐ歌舞伎のころ」(市川猿之助) 特集：「音の働きや役割について考えよう」(p74, 75) 特集：「音楽が人と人をつなぐ」(p47) 歌唱教材との関わり：「あすという日が」(p63)</p>

【音楽】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥我が国の音楽に関する内容の扱い
方 法	○学年ごとの鑑賞曲，和楽器，歌唱教材

発行者	調査・研究内容		
教 出	○「にっぽんのうた みんなのうた」として，共通教材や季節に合わせて取り扱う巻末の歌を掲載している。		
	○和楽器は第2学年から取り入れている。		
	学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材（共通教材：共・巻末：巻）	
	1	鑑賞曲	・わらべうた：（「おちゃらか」「なべなべ」）
		歌唱教材	・共：「ひらいたひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」 ・巻きせつのうた：「たなばたさま」「たきび」「おしょうがつ」「うれしいひなまつり」
	2	鑑賞曲	・日本のたいこ：（「つがるじよっぱりだいこ」「さんさおどりのたいこ」「ごじんじよだいこ」「はちじょうだいこ」）
		和楽器	・たいこ
		歌唱教材	・共：「かくれんぼ」「虫のこえ」「夕やけこやけ」「春がきた」 ・巻しぜんとうた：「つき」「とんぼのめがね」「雪」 ・「村まつり」
	3	鑑賞曲	・日本や世界の子どもたちの歌：（「十五夜さんのもちつき」）
		歌唱教材	・共：「春の小川」「茶つみ」「うさぎ」「ふじ山」 ・巻ころとうた：「あの町この町」「七つの子」「まっかな秋」
	4	鑑賞曲	・「さくら変そう曲」「ソーラン節」「秩父屋台ばやし」「葛西ばやし」
		和楽器	・こと・大だいこ・しめだいこ・かね・ふえ・おおどう・つけだいこ
		歌唱教材	・共：「さくらさくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」 ・巻きせつのうた：「どこかで春が」「みかんの花さくおか」「里の秋」 ・「沖永良部の子もり歌」
	5	鑑賞曲	・「会津磐梯山」「音戸の舟歌」「長唄『越後獅子』から」「京の夜」 ・「花」「箱根八里」「『唱歌の四季』から」
和楽器		・しの笛・こきりこ・三線	
歌唱教材		・共：「こいのぼり」「子もり歌」「冬げしき」「スキーの歌」 ・「赤とんぼ」「こきりこ節」「谷茶前」 ・巻山田耕筰，中田喜直のうた：「ペチカ」「待ちぼうけ」「星とたんぼぼ」「ちいさい秋みつけた」	
6	鑑賞曲	・「春の海」	
	和楽器	・こと・尺八・三味線・雅楽の楽器（ふき物・ひき物・打ち物）	
	歌唱教材	・共：「おぼろ月夜」「われは海の子」「越天楽今様」「ふるさと」 ・巻滝廉太郎のうた：「荒城の月」「箱根八里」	

教芸	○共通教材は「こころのうた」とし、巻末に「歌いつごう日本の歌」として、季節や自然にまつわる歌を掲載している。		
	○和楽器は第3学年から取り入れている。		
	学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材（共通教材：共・巻末：巻）	
	1	鑑賞曲	・「さんちゃんが」「おおなみなみ」
		歌唱教材	・共：「ひらいたひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」 ・「おちやらかほい」 ・巻うたいつごうにほんのうた：「たなばたさま」 「おしょうがつ」「うれしいひなまつり」
	2	鑑賞曲	・「とうしんドーイ」 ・「ずいずいずっころばし」「あんたがたどこさ」 「なべなべそこぬけ」
		歌唱教材	・共：「かくれんぼ」「虫のこえ」「夕やけこやけ」「はるがきた」 ・巻うたいつごう日本のうた：「夕日」「とんぼのめがね」 「シャボン玉」
	3	鑑賞曲	・「祇園囃子」「ねぶた囃子」「神田囃子『投げ合い』」
		和楽器	・長胴だいこ・しめだいこ・かね・しのぶえ
		歌唱教材	・共：「春の小川」「茶つみ」「うさぎ」「ふじ山」 ・巻歌いつごう日本の歌：「ゆりかごの歌」「七つの子」 「どこかで春が」
	4	鑑賞曲	・「こきりこ」「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』より」 「津軽じょんがら節」「ていんさぐぬ花」
		和楽器	・こきりこ・びんざさら・たいこ・ふえ・ぼうささら・くわがね ・つづみ・こと・三味線・三線
		歌唱教材	・共：「さくらさくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」 ・巻歌いつごう日本の歌：「みかんの花さくおか」「せいくらべ」 「みどりのそよ風」
	5	鑑賞曲	・「待ちぼうけ」「赤とんぼ」「この道」 ・「春の海」「ソーラン節」「かりぼし切り歌」
		和楽器	・こと・尺八
		歌唱教材	・共：「こいのぼり」「冬げしき」「スキーの歌」「子もり歌」 ・巻歌いつごう日本の歌：「ちいさい秋みつけた」「海」
	6	鑑賞曲	「花」「箱根八里」「荒城の月」「雅楽『越天楽』」
		和楽器	・笛・小鼓・大鼓・太鼓・太棹三味線・細棹三味線・三線
歌唱教材		・共：「おぼろ月夜」「われは海の子」「ふるさと」「越天楽今様」 ・巻歌いつごう日本の歌：「夏は来ぬ」「浜千鳥」	

【音楽】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦題材や資料等の配列
方 法	○表現領域における系統的な扱い

発行者	調査・研究内容
教出	<p><b>歌 唱</b></p> <p>○第2学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二部合唱導入曲 第2学年：「春がきた」「ラララ歌おう」（部分二部合唱）</li> </ul> <p>○第5学年から三部合唱を導入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三部合唱曲 第5学年：「こげよマイケル」 第6学年：「ロックマイソウル」</li> </ul> <p><b>器 楽</b></p> <p>○第2学年から合奏曲を導入している。</p> <p>○巻末の「音楽ランド」にも、合奏曲が掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年：「汽車は走る」「チャチャ マンボ」<b>巻</b>「アンダルコの歌」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・木琴やオルガンの演奏する音の位置が図示されている。（p48）</li> <li>・マレットを変えると音が変わることが書かれている。（p52）</li> </ul> </li> <li>第3学年：「せいじゃの行進」「パフ」<b>巻</b>「ミッキーマウスマーチ」</li> <li>第4学年：「ラ クンパルシータ」<b>巻</b>「魔法のすず」</li> <li>第5学年：「茶色の小びん」「風とケーナのロマンス」「ルパン三世のテーマ」<b>巻</b>「ゴジラ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・#ソ、#レの音が出てくる。（p53）</li> </ul> </li> <li>第6学年：「マルセリーノの歌」「カノン」「L-O-V-E」<b>巻</b>「八木節」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの楽譜を使って、グループによりいつどの部分を演奏するかを示すことで合奏になるようにしている。（p26, 27）</li> <li>・スウィングについて説明し、「小音符で演奏してもよい」としている。また、シンセサイザーの曲に適した音色についても触れている。（p32, 33）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>音楽づくり</b></p> <p>○「音のスケッチ」として、今まで学んだことを生かしてアンサンブルするように組まれている。</p> <p>○身の回りの音や声に関心をもたせ、表現させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年：「ねこのなきごえであそぼう」（鳴き声）</li> <li>第2学年：「どんな音がきこえるかな」（自然の音、町の音、学校の音）</li> <li>第3学年：「いろいろな声で表げんして遊ぼう」（ヤッホー）</li> <li>第5学年：「いろいろな声で音楽をつくろう」（詩「ゆき」）</li> </ul> <p>○高学年は中学校を意識した発展的な内容が含まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第5学年：「和音に合わせてせんりつをつくろう」 「ずれの音楽を楽しもう」</li> <li>第6学年：「動機をもとに音楽をつくろう」</li> </ul>

「じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう」  
「役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう」

**楽器の扱いについて**

**【打楽器等】**

- 第1学年では、題材で取り扱う楽器について写真でもちかたを示しているページの他、巻末の折込「がっきずかん」で「だがっきいろいろ」として、持ち方や打ち方、打つところ、止め方が写真で詳しく示されている。
- 第2学年では、主に、巻末の折込「楽き図かん」の「だがっきいろいろ」で、ばちやマレットの持ち方や打ち方等について、写真と言葉で示されている。
- 第3学年の巻末には、「打楽きしりょう」として、マレット、ばちの持ち方及び、クラベスの持ち方が写真と言葉で示されている。
- 第4・5・6学年の巻末には、「打楽器し料」として、マレット、ばち、和だいこのばちの持ち方が写真や絵で示されている。
- 各学年で掲載されている楽器
  - 第1学年：タンブリン、すず、カスタネット、けんばんハーモニカ、ハーモニカ、トライアングル、シンバル、おおだいこ、こだいこ、てっきん、もつきん
  - 第2学年：ウッドブロック、ギロ、グロッケン、ビブラフォン、マリンバ、オルガン、たいこ
  - 第3学年：リコーダー、カウベル、クラベス
  - 第4学年：しめだいこ、長どうだいこ、かね、シェーカー、アゴゴ、フロアトム、こと、ボンゴ
  - 第5学年：しの笛

教出

**【けんばんハーモニカ】**

- 第1学年：「こんにちは けんばんハーモニカ」(p32~39)  
「めざせがっきめいじん おとのながさをくふうしてふこう」(p51)

○楽器の演奏の仕方を図や写真を用いて示している。

- ・座ってホース使用と吹き口を使って立って演奏している写真を同じ大きさと掲載している。(p32)
- ・構え方の注意点を示している。
  - 「けんばんをおさえながら、ふきぐちからいきをふきこみます。」(p32)
  - 「ふきぐちをゆびでかるくささえよう。」「うでやかたのちからをぬこう。」(p35)
  - 「おさえかた：みかんをつかむようなかんじで、ゆびをけんばんにおいてね。」(p38)
- 「ゆびのかたち」(p51)
- ・ほぼ実物大の楽器の写真が多く、鍵盤には「どれみふあそらしど」が書かれ、その曲で押さえる部分には色の○が付けられている。「ひくいおと」「たかいおと」が矢印で示されている。
- ・上記の写真を使って、階名と鍵盤の位置、写真による指番号が連動して示されている部分がある。(p36, 38)
- ・息の入れ方や音の出し方について言葉や図で説明している。
  - 「おとをながくのぼしたり、みじかくきったりしてみよう。」「いきのつよさをか

<p>教出</p>	<p>えてみよう。」(p33)  「どをおさえたまま、『とうーとうー』とおはなしするかんじで、いきをふきこもう。」(p34)  「おとをくぎるときやとめるときは、したをつかっていきをとめよう。」(p35)  ○どんな音がするのかを試してから、音階を演奏している。  ・「ためしてみよう」で音の高さが変わることを感じさせてから、いろいろなどうぶつ  のなきごえをまねさせている。(p33)  ・ド→ドレミ→ドレミファソと順を追って演奏の仕方を身に付けさせるように配列  されている。</p> <p>第2学年：「リズムやドレミとなかよし」(p20～23)  「めざせ楽き名人 ドレミで歌ってからえんそうしよう」(p26, 27)  「めざせ楽き名人 きょくのかんじを生かしてえんそうしよう」  (p40, 41)</p> <p>○鍵盤ハーモニカを扱う初めのページは、第1学年と同様にほぼ実物大の楽器の写真  が掲載されており、全ての鍵盤に階名が書かれているとともに、階段で音の高さを  示している。(p20, 21)</p> <p>○「かえるのがっしょう」(p22, 23)  ・五線譜に階名と指番号、1～4のフレーズの番号が書いてある。(p22)  ・それに対応した「ひき方」が①の指の動きを中心に写真と言葉で書かれ、注意点  も示されている。(p23)</p> <p>○運指について説明している。  ・「ゆびくぐり」と「ゆびまたぎ」について、写真と言葉で説明している。(p27)  ・「手のいち」として①の指だけではなく、フレーズの最初の③や⑤の指に着目させ、  楽譜の指番号に色を付けたり、写真で示したりしている。</p>
<p>教芸</p>	<p><b>歌 唱</b>  ○第3学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。  ・二部合唱導入曲  第3学年：「歌おう声高く」(部分二部合唱)  ○第5学年から三部合唱を導入している。  ・三部合唱曲  第5学年：「こげよマイケル」「A good day」  第6学年：「星の世界」「ふるさと」</p> <p><b>器 楽</b>  ○第1学年から合奏を導入している。  ○巻末の「みんなで楽しく」にも、合奏曲を掲載している。  第1学年：「こいぬのマーチ」  第2学年：「こぐまの二月」<b>巻</b>「アイアイ」  ・低音楽器は合奏全体の響きを支えていることを説明している。(p65)  第3学年：「ゆかいな木きん」「パフ」「エーデルワイス」<b>巻</b>「ミッキーマウスマー  チ」  ・鍵盤楽器の指番号と絵が示されている。(p28)</p>

- ・低音楽器は合奏全体の響きを支えていることを説明している。(p52)
- 第4学年:「茶色の小びん」「ジッパディードゥーダー」**巻**「スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャス」
- ・マレットについての説明が書かれている。(p51)
- 第5学年:「リボンのおどり」「キリマンジャロ」「威風堂々」**巻**「アフリカンシンフォニー」
- 第6学年:「ラバースコンチェルト」「雨のうた」「風を切って」**巻**「木星」**巻**「コンドルは飛んで行く」
- ・3連符が入った曲がある。(p72)

### 音楽づくり

○リズムや旋律、音色等の要素を中心に、学年間のつながりを見通した題材のもとに、音楽づくりの教材が組まれている。

○身の回りの音や声に関心をもたせ、表現させている。

第1学年:「おとをさがしてあそぼう」(学校の中で聞こえる音)

第2学年:「さがしてつくろう」(鳴き声, 乗り物の音, 自然の音, 家の中で聞こえる音)

第4学年:「言葉でリズムアンサンブル」(声)

第6学年:「ボイスアンサンブル」(楽器の代わりに声で演奏)

教芸

○高学年まで基礎的な内容を重視し、無理なく発展的な内容となっている。

第1学年:「ことばでリズム」「せんりつのまねっこ・おはなし」

第2学年:「がっきでおはなし」「せんりつあそび」「ばんそうあそび」

第3学年:「手拍子でリズム」「ラドレの音でせんりつづくり」

第4学年:「言葉でリズムアンサンブル」「2人でせんりつづくり」

第5学年:「打楽器でリズムアンサンブル」「音階の音で旋律づくり」

第6学年:「ボイスアンサンブル」「和音の音で旋律づくり」

### 楽器の扱いについて

#### 【打楽器等】

○第1学年では、その楽器を取り扱うページで、写真と絵により、持ち方、打ち方、打つ場所、鳴らし方を示している。

○第2学年では、巻末に見開きで「いろいろながっき」が掲載されており、構え方を中心に写真で示している。

○第5学年では、ラテン楽器の鳴らし方について、写真で示している。(p31)

○各学年で掲載されている楽器

第1学年: カスタネット, タンブリン, けんばんハーモニカ, トライアングル, すず, ウッドブロック, てっきん

第2学年: クラベス, 小だいこ, 大だいこ, オルガン, 木きん, キーボード

第3学年: リコーダー, しめだいこ, 長胴だいこ, ギロ, シンバル, ウインドチャイム

第4学年: マラカス, こと, コンガ, ボンゴ

第5学年: カバサ, サスペンデッドシンバル, カウベル, アゴゴ

#### 【けんばんハーモニカ】

第1学年: 「どれみとなかよくなるう」(p32~41)



教芸

○楽器の演奏の仕方を写真や絵を用いて示している。

- ・座ってホースを使用している写真を大きめに掲載し、吹き口を使って立って演奏している写真、及び左手の持ち方も載せている。(p32)
- ・ほぼ実物大の楽器の写真の鍵盤に、その曲で押さえる音が「どれみ」で書かれ、手の絵に指番号が示されている。「ひくいおと」「たかいおと」が矢印で示されている。
- ・構え方や手入れの仕方についての注意点が書かれている。  
「かたやうでのちからをぬきましょう。」「はでかまずに、くちびるでかるくはさむようにしましょう。」「ゆびはかるくまげましょう。」(p32)  
「ふきおわたたら、ホースをみずであらってよくかわかそう。」(p33)
- ・息の入れ方や音の出し方について言葉や図で説明している。  
「うたうときのようにおとをなめらかにつなげるには、いきをのぼしたままゆびをうごかすといいよ。」(p39)  
いろいろな音の例「たかいおと・ひくいおと」「ひとつのおとだけをならず・いくつかのおとをいっしょにならず」「ながくのばすおと・みじかくきるおと」「つよいおと・よわいおと」(p35)

○鑑賞から入り、どんな音がするのかを試してから、音階を演奏している。

- ・「みつばちハニーのぼうけん」の鑑賞をして、いろいろな音をふく。(p33~35)
- ・ドソ→ドレミ→ドレミファソと順を追って鍵盤の位置を示し、演奏の仕方を身に付けさせるように配列している。

第2学年：「ドレミであそぼう」(p22~27)

「リズムをかさねて楽しもう」(p36, 37)

「ようすをおもいうかべよう」(p56, 57)

○ふきかたのくふうを楽譜と関連付けて図や吹き出しで示している。(p23)

- ・「したをつかってソの音をみじかくきっているよ。」(トゥッ トゥ)
- ・「いきを出しつづけながら、したで音をくぐるふきかたがあるよ。」(トゥトゥ)

○「かえるのがっしょう」(p24, 25)

- ・音符に階名と指番号が書いてある。
- ・親指がドからミへ移動する弾き方について、吹き出しに絵と言葉で説明している。

○運指について説明している。

- ・1の指の位置がミヤソ、ファになる場合について、絵と言葉で説明している。

「山のポルカ」(p37)「小ぎつね」(p56)

- ・「指くぐり」「指またぎ」については、第3学年の鍵盤楽器で、写真と指番号で示している。(p8)

【音楽】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
方 法	○音楽を形づくっている要素の示し方と具体例

発行者	調査・研究内容
教出	<p>見開き右ページ上に音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として示してあり、各題材で学習すべき要素が複数列举されている。また、中学年・高学年にはメモ欄がついていて、児童が気づいた要素を書き込んで学習を深めることができるようになっている。さらに、巻末の『「音楽のもと」まとめ〕に〔共通事項〕の内容が掲載されている。巻末には「音楽を表すいろいろな言葉」として、強さや旋律、仕組みや音楽の感じを表す言葉が具体的に例として掲載されている。</p> <p>《具体例》</p> <p>○歌唱における要素の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「きれいなひびきで生き生きと歌おう」(p24)では、音色・旋律・それらの変化に着目させ、スイス民謡のヨーデルの表現を聴かせることで発声の違いによる声の響きの違いを感じ取らせながら、「この山光る」を用いて、高い音をきれいなひびきで歌うよう示している。(第3学年)</li> <li>・「せんりつの特ちょうを生かして歌おう」(p30)では、旋律・フレーズ・強弱・呼びかけと答えに着目させ、「とんび」を用いて、一段ごとに旋律をなぞるなどして旋律がどのような流れになっているかを確認、気づいたことを話し合っ表現を工夫するよう示している。(第4学年)</li> </ul> <p>○鑑賞における要素の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひょうしとせんりつ」(p18)では、拍・速度・強弱に着目させ、ベートーベンの「トルコ行進曲」を用いて、4分の2拍子の拍の感覚をつかむために「曲に合わせてしきの動きをしてみよう」と示している。さらに「強弱などの変化にも合わせてしきの動きができるかな」と問いかけている。(第4学年)</li> <li>・「オーケストラのみりよく」(p30)では、音色・音の重なり・旋律・反復・変化と多くの要素を列举している。シベリウスの組曲「カレリア」を用いて、旋律を演奏する楽器が変わっていくところに注目させ、それぞれの楽器の音色や響きを感じ取らせるようにしている。(第5学年)</li> </ul> <p>○音楽づくりにおける要素の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年「音のスケッチ」として、様々な創作活動の手順を示している。</li> <li>・「和音に合わせてせんりつをつくろう」(p26)では、和音の進行を示してその中の音を使いながら和音に合わせた旋律作りを、「いろいろな声で音楽をつくろう」(p46)では、音色・強弱・音の重なり気をつけてボイスアンサンブルを、「ずれの音楽を楽しもう」(p56)では、リズムや縦と横との関係に着目させてクラッピングミュージックをつくる工夫を示している。(第5学年)</li> <li>・「動機をもとに音楽をつくろう」(p19)では、フレーズの変化や反復を使っの旋律づくりを、「じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう」(p34)では、和音の響きに合わせた旋律づくりを、「役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう」(p46)では、特定の音の並びを示して、一台の鍵盤楽器を複数の児童で演奏しながら、支えや呼びかけなど役割を考えた音楽づくりをする方法を示している。(第6学年)</li> </ul>

見開き右ページ下に音楽を形づくっている要素が示されている。各題材で学習すべき要素が複数列举されており、その単元で特に重点的に指導したい要素については濃い字体で示されている。また、巻末の「ふり返りのページ」に、その学年で学習した内容、音楽を形づくっている要素についてまとめられ、関連するページが掲載されており、1年間で学習した様々な要素を一目で確認することができる。

#### 《具体例》

##### ○歌唱における要素の示し方

- ・「音の重なりをかんじて合わせよう」(p66)では、さまざまな要素のうちでも特に『音の重なり』に着目させ、「歌おう声たかく」を用いて、互いの声を聴き合いながら音の重なり合う面白さを感じ取るよう示している。また、ビゼーの「アルルの女」第1組曲から「かね」を鑑賞させることで、1つの旋律の上に違う旋律が重なり合っていることを感じ取らせ、自分たちの歌唱表現にいかすよう示している。(第3学年)
- ・「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」(p38)では、さまざまな要素のうちでも特に『旋律』に着目させ、「とんび」を用いて、とんびが実際に飛んでいる様子を思い浮かべながら、旋律の音の上がり下がりを感じ取るように、または強弱を工夫するよう示している。(第4学年)

##### ○鑑賞における要素の示し方

- ・「歌声のひびきを感じ取ろう」(p12)では、さまざまな要素のうちでも特に『音色』に着目させ、モーツァルトの歌劇「魔笛」から「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」を用いて、二つの歌声を聞き比べて音色の違いを感じ取るよう示している。また、二人の歌声が掛け合いをする部分や二人の歌声が重なっている部分については、それぞれ音の高さを色分けした図を用いて、より聞き取りやすく示している。(第4学年)
- ・「いろいろな音色を感じ取ろう」(p26)では、さまざまな要素の中でも特に『音色』に着目させ、ショスタコービチの「祝典序曲」を用いて、主な旋律を演奏する楽器に気をつけながら聴くことで音色の違いを味わうよう示している。また、金管楽器や弦楽器の活躍する部分を色別にし、特徴的な旋律を楽譜で示しながら、音色の異なる多くの楽器が一体となって豊かな響きを生み出すオーケストラの魅力を感じ取らせるようにしている。(第5学年)

##### ○音楽づくりにおける要素の工夫

- ・全学年「音楽づくり」として、様々な創作活動の手順を示している。
- ・「打楽器でリズムアンサンブル」(p30)では、音色の組み合わせやリズムの重ね方を工夫したリズムアンサンブルを、「音階の音で旋律づくり」(p58)では、日本の音階を示し、音階の音を使って音の上がり下がりやつなげ方を工夫しながら旋律づくりをする方法を示している。(第5学年)
- ・「ボイスアンサンブル」(p22)では、音色やリズムに着目しながら、声の響きが重なるおもしろさを生かした音楽づくりを、「和音の音で旋律づくり」(p32)では、和音の進行を示し、和音にふくまれる音を選択しながらリズムを工夫して旋律づくりをする方法を示している。(第6学年)

【音楽】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫
方 法	○表現及び鑑賞領域における音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

発行者	調査・研究内容
教出	<p>対話の場や相手意識をもたせた活動が多く、気づいたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面が設定されている。また、「意見交換しよう」「話し合おう」「伝え合おう」など、対話的な行動を促す呼びかけが多い。感じ取ったことを実際に演奏して表現を高めていく場面や視点をもって再度音楽を聴き味わう場面が設定されている。</p> <p>○表現領域 《具体例》</p> <p>「みんなで合わせて」(第3学年) 学習目標「パートをえらんで、みんなでえんそうをくふうしよう」 教材曲「パフ」(器楽) (p56, 57) ・「まなびナビ」のマークで学び方を提示し、「友だちと意見を交かんしながら進めよう。」と示している。</p> <p>「声のひびき合い」(第5学年) 学習目標「表現をくふうしてきき合いながら歌い合わせよう」 教材曲「ハロー・シャイニング ブルー」(歌唱) (p22, 23) ・学習過程を「学び合う音楽」というタイトルとし、「どんな曲かな？」の中で「曲のイメージや、いいなと思ったところを話し合おう。」と示している。 ・「みんなで合わせよう。」において、「自分たちの思いや意図を大切に、よりよい演奏うにしていけるためのポイントを考えながら練習しよう。」と示している。</p> <p>「演奏のみりよく」(第6学年) 学習目標「思いや意図を大切にしながら、みんなで表現を工夫しよう」 教材曲「ぼくらの日々」(歌唱) (p16, 17) ・学習過程を「学び合う音楽」というタイトルとし、「曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。」と示している。 ・「自分たちの表現をめざそう」では、「『もっとこうしたいな』と思うところを話し合おう。」「たがいによくきき合って、さらにまとまりのあるアンサンブルにするために、いろいろ試してみよう。」と示している。</p> <p>○鑑賞領域 《具体例》</p> <p>「いい音 見つけて」(第2学年) 「ゆかいな 時計」(p34, 35) ・「まなびナビ」のマークで学び方を提示し、言語活動についても示している。</p> <p>「ききどころを見つけて」(第4学年) 学習目標「曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう」</p>

	<p>教材曲「ノルウェー舞曲 第2番」(p52, 53)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなびナビ」のマークで学び方を提示し、「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話ししよう。」と示している。</li> <li>・聴き取ったことや感じ取ったことなどを記入する表がある。</li> <li>・「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」と示している。</li> </ul>
<p>教芸</p>	<p>キャラクターを登場させ、吹き出しを使って学習者に問いかけ、思いや意図を引き出す場面が多い。また、学習目標の続きに活動文として気付いたことや感じ取ったことなどの意見を引き出し共有する言語活動の記述をしている。気付きと関連させながら実際に演奏して、表現を高めていく場面や視点をもって再度音楽を聴き味わう場面が設定されている。</p> <p>○表現領域 《具体例》</p> <p>「ようすを おもいうかべよう」(第2学年) 学習目標「かしの ようすを おもいうかべながらうたいましょう。」 教材曲「夕やけ こやけ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんな かんじでうたうと いいかな」の吹き出しがある。</li> </ul> <p>「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」(第4学年) 学習目標「せんりつのとくちょうに合ったふき方でえんそうしましょう。」 教材曲「陽気な船長」(p32, 33)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「せんりつのとくちょうをくらべて、気づいたことを話し合ひましょう。」や「気づいたことをもとにして、<b>ア</b>と<b>イ</b>のせんりつのとくちょうに合ったふき方をくふうしてえんそうしましょう。」などの記述がある。</li> </ul> <p>「詩と音楽の関わりを味わおう」(第6学年) 学習目標「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう。」 教材曲「ふるさと」(p44~46)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歌詞や曲の特徴について話し合ひましょう。」「『ふるさと』をどのように歌いたいかを考えて、発表し合ひましょう。」と示している。</li> <li>・「工夫したい点をまとめたら、たがいの歌声をよくきき合ひながら合唱しよう。」と示している。</li> </ul> <p>○鑑賞領域 《具体例》</p> <p>「曲のかんじを生かそう」(第3学年) 学習目標「曲のかんじを味わってききましょう。」 教材曲「メヌエット」(p42, 43)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>ア</b>と<b>イ</b>のかんじのちがいに気をつけてききましょう。」「<b>ア</b>と<b>イ</b>のせんりつをきいて、かんじたことと気づいたことをまとめましょう。」と示し、感じたことと気付いたことを記入する表を掲載している。</li> <li>・「まとめたことをふりかえりながら、<b>ア</b>→<b>イ</b>→<b>ア</b>の曲のまとまりに気をつけてき</li> </ul>

きましょう。」と示している。

「詩と音楽の関わりを味わおう」(第5学年)

学習目標「詩と音楽との結び付きに気を付けて、日本語の歌曲を味わいましょう。」

教材曲「待ちぼうけ」(p42~47)

- ・それぞれの工夫がどのように関わっているのか視点を提示して話し合い、再度聴いて、心に残ったことを書く場が設定してある。